Panasonic

ファクシミリ

Panafax UF-330

品番 UF-330

取扱説明書

準備

基本編
- ファクス
- 電話
- コピー

応用編
- 便利なファクス機能
- 電話を便利に使う
- プリンター／スキャナーとして使う
- 登録のしかた
- レポート・リストのプリント

こんなときには

このたびはPanafax UF-330をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、
販売店からお受け取りください。

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効率的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

準備が終わったら… 使いたい機能をお選びください

準備(お使いになる前に)

ファクス

電　話

コピー

便利な機能の使いかた

もくじ

電話を便利に使う

プリンター／スキャナーとして使う

登録のしかた

レポート・リストのプリント

こんなときには

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

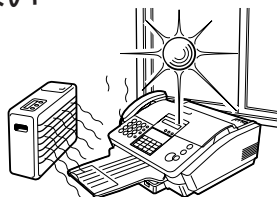
■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

（注意絵表示）	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
（禁止絵表示）	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
（強制絵表示）	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

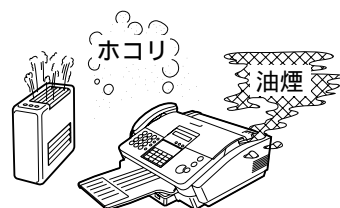
●こんなところには置かないで

⚠ 注意

直射日光の当たる場所や、熱器具の近くには置かない

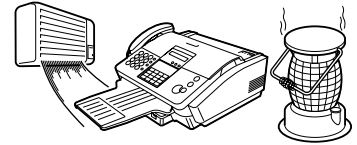
禁止

内部の温度が上がる、カバーや電源コードの被覆が溶けるなどで、火災の原因となることがあります。

油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない
（調理台、風呂場、加湿器のそばなど）

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動・衝撃の多い所に置かない

落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

温度変化の激しい場所には置かない
（エアコンや暖房機のそばなど）

本機の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となることがあります。

本機は幼児の手の届く所に置かない

原稿挿入口などの開口部に指を差し込むと、けがの原因となることがあります。

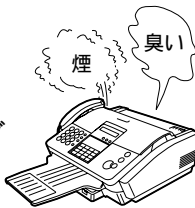
湿気の多い場所では、アース線を取り付けて使用する

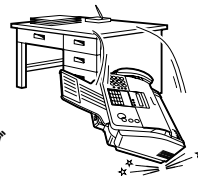
アース線接続

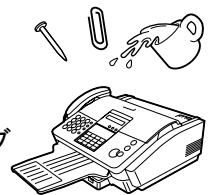
感電の原因となることがあります。

●取扱上のご注意

⚠ 警告

煙が出ている、変な臭いがするときは、すぐに電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。
- 販売店またはお客様ご相談センターにご連絡ください。

本機を落としたりカバーを破損した場合は、すぐに電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。
- 販売店またはお客様ご相談センターにご連絡ください。

内部に水や金属物などが入った場合は、すぐに電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。
- 販売店またはお客様ご相談センターにご連絡ください。

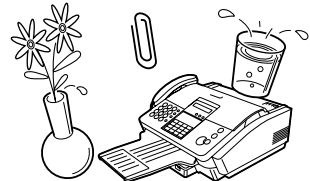
安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 警告

本機を分解・改造しない

火災・感電の原因となります。

- 販売店またはお客様ご相談センターにご連絡ください。

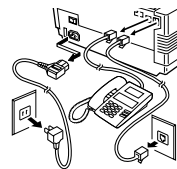
本機の上や近くに水などの入った容器や小さな金属物を置かない
（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、クリップなど）

こぼれたり、落ちたりして内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

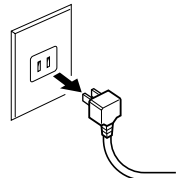
●取扱上のご注意

⚠ 注意

開閉部を閉めるときは手を挟まないよう注意する

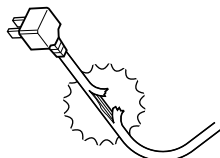
けがの原因となることがあります。

移動する場合は、電源コードや回線コードなどをはずす

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

●電源についてのご注意

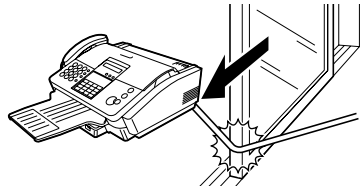
⚠ 警告

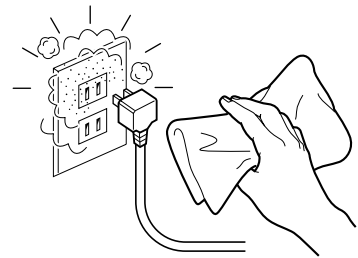
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）使用しない

火災・感電の原因となります。

本機の電源は国内仕様なので、海外では使用しない

火災・感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・ショート・感電の原因となります。

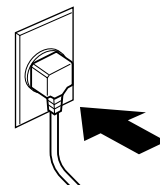
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火事の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

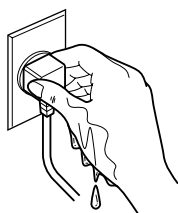
付属の電源コードなど指定品以外は使用しない

禁止

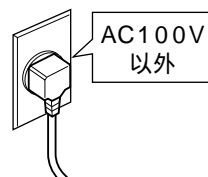
火災・感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

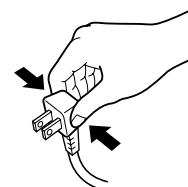
禁止

感電の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

●電源についてのご注意

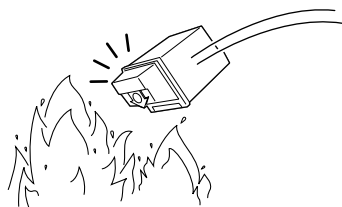
⚠ 注意

電源プラグの抜き差しをするときは、プラグ（金属でない部分）を持つ

感電の原因となることがあります。

●消耗品についてのご注意

⚠ 注意

プリントカートリッジは火中に投げ入れない

禁止

爆発したり燃えて、火災・やけどの原因となることがあります。

プリントカートリッジは幼児の手の届くところに置かない

禁止

飲むと有害です。

- 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

●電池についてのご注意

⚠ 警告

電池は幼児の手の届く所に置かない

禁止

飲むと有害です。

- 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

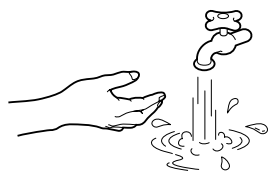
ショート、分解、加熱、火に入れるなどしない

禁止

液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

電池を廃棄・保存する場合は、テープなどで絶縁する

他の金属や電池と混じると、発火・破裂の原因となります。

液が目に入ったり皮膚や衣服に付いたら、すぐに洗い流す

そのままにしないで、すぐにきれいな水で洗い流してください。目に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

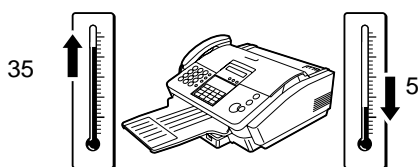
電池をお使いになるとき、次のようなことはしない

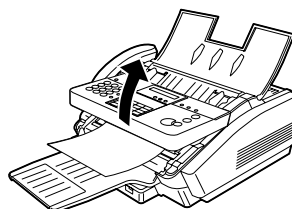
禁止

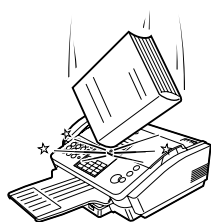
（プラス・マイナスを間違えたり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用したり、他の種類の電池と混ぜて使用したり、充電したり、直接ハンダ付けしたり、直射日光が当たる場所や高温・高湿の場所に保管したりしない）

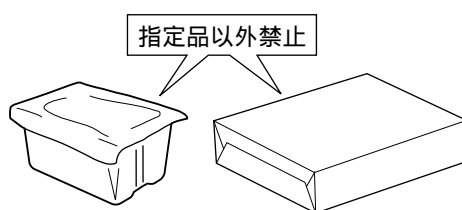
液漏れ・破裂の恐れがあります。

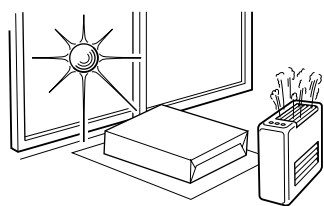
お願い

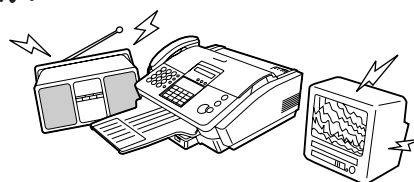
暑い場所（35°C以上）や寒い場所（5°C以下）には置かない

誤動作の原因となります。

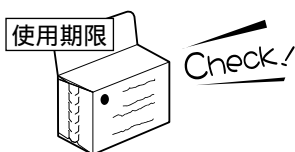
動作中は開閉部を開けない

動作が中断します。

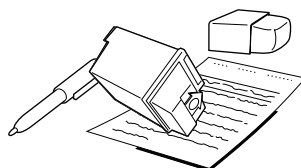
本機に強い衝撃を与えない

故障の原因となります。

当社指定品以外は使用しない

記録品質への悪影響や、故障の原因となります。

次のような場所には保管しない
（直射日光の当たる場所、高温・高湿の場所）

用紙の変色の原因となります。

無線機器（ラジオ・テレビ）の近くで使用しない

ラジオやテレビに雑音が入ったり、画像が乱れる原因となります。

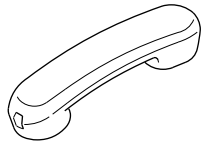
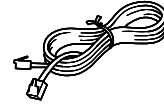
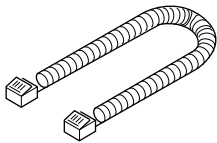
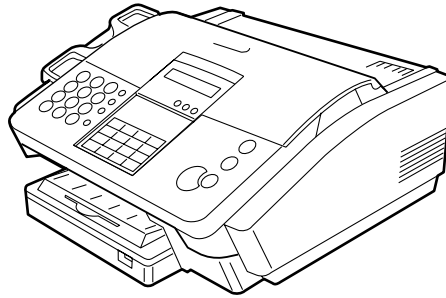
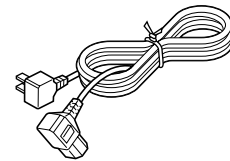
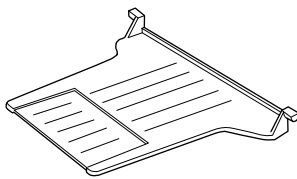
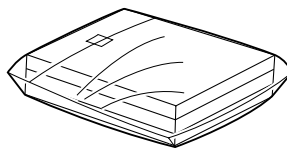
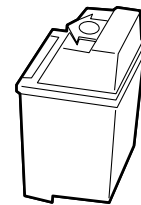
使用期限を過ぎているプリントカートリッジは使用しない

記録不良の原因となります。
梱包箱に記載されている使用期限を確認してください。

使用中のプリントカートリッジを放置しない

記録不良の原因となります。

プリントカートリッジは室温で保管する

高温または低温での保管は、記録不良の原因となります。

本体と付属品の確認

セットの内容に足りないものがある場合は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

取扱説明書 ･･ 1部
操作方法早見表 ･･ 1部
保証書 ･･ 1枚

各部のなまえとはたらき

原稿台

原稿ガイド

受話器

操作パネル（☞ P14）

受信ドア

用紙がつまったときや、カートリッジを交換するときに開けます。

送信ドア

原稿がつまったときなどに開けます。

送信トレイ

用紙押さえ

用紙カセット

用紙カバー

操作パネルのなまえとはたらき

メモリーボタン／ランプ
メモリーを使って送信するときにランプを点灯させます。（ボタンを押すたびに点灯／消灯）

ファンクションボタン
各種登録・設定をするときに押します。

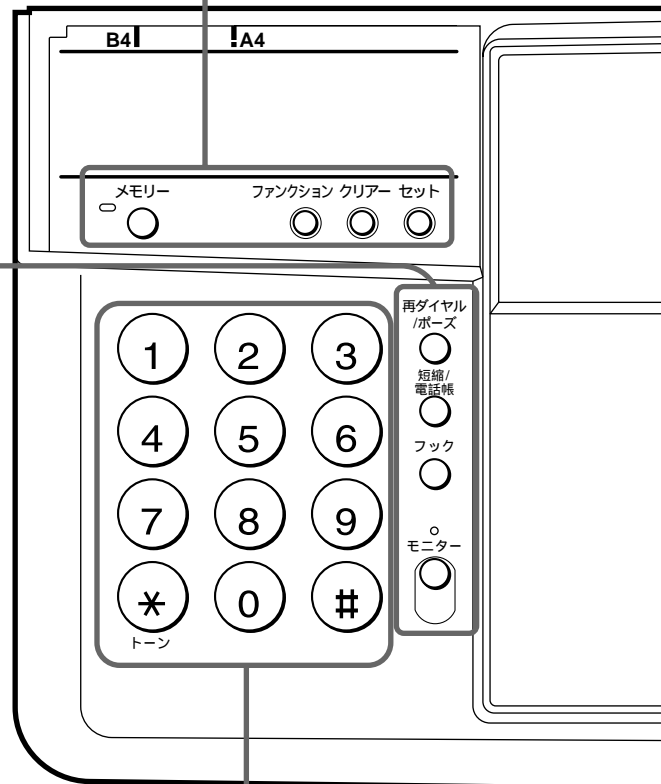
クリアーボタン
入力した文字や数字を訂正するときに押します。

セットボタン
各種登録・設定をするときに押します。

再ダイヤル／ポーズボタン
最後にかけた相手にもう一度ダイヤルします（☛ P34、45）。また、電話番号の途中で、約3秒の空白時間を入れるときに押します。

短縮／電話帳ボタン
短縮ダイヤルをするとき（☛ P32、45）や、電話帳ダイヤルをするとき（☛ P33、46）に押します。

フックボタン
外線で通話中にキャッチホン信号がきたときに押します。

モニターボタン
受話器を置いたままダイヤルするときに押します。

ダイヤルボタン
ダイヤルするときや、文字入力をするときなどに押します。また回転ダイヤル式回線でプッシュホン信号を使いたいときに ⊛ を押します。（☛ P64）

ブックボタン
本などの原稿を読み取るときに押します。（☛ P28）

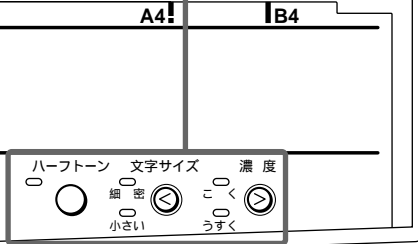
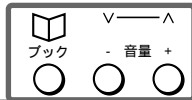
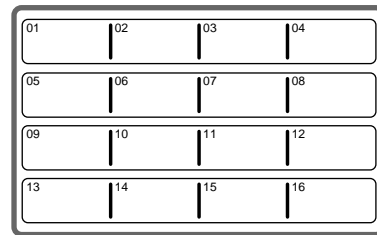
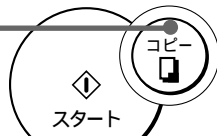
音量ー（∨）ボタン
音量を小さくする（☛ P65）ときや、電話帳ダイヤルをするとき（☛ P33、46）に押します。

音量＋（∧）ボタン
音量を大きくする（☛ P65）ときや、電話帳ダイヤルをするとき（☛ P33、46）に押します。

ハーフトーンボタン
原稿に合わせてハーフトーンを選ぶときに押します。（ボタンを押すたびに点灯／消灯）

文字サイズ（＜）ボタン
原稿に合わせて、文字サイズの「細密」（細密ランプ点灯）または「小さい」（小さいランプ点灯）を選びます。

濃度（＞）ボタン
原稿の濃さに合わせて、濃度の「こく」（こくランプ点灯）または「うすく」（うすくランプ点灯）を選びます。

ディスプレイ
日時、宛先、電話番号などを表示します。また、送信や受信ができなかったときなど、エラーコードを表示します。

ワンタッチダイヤルボタン
ワンタッチダイヤルするときに押します。（☛ P32、44）

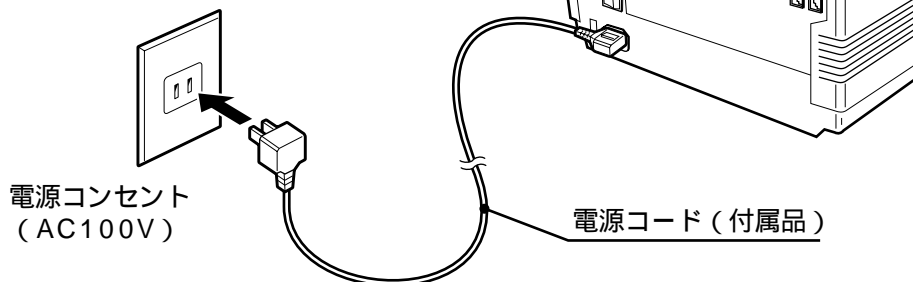
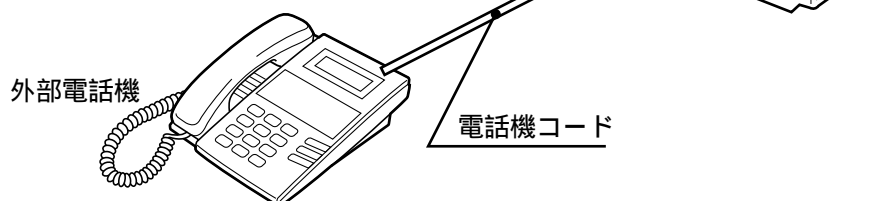
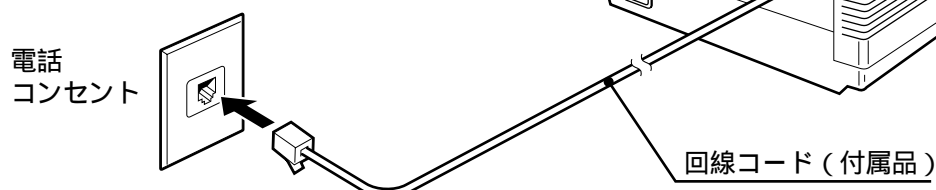
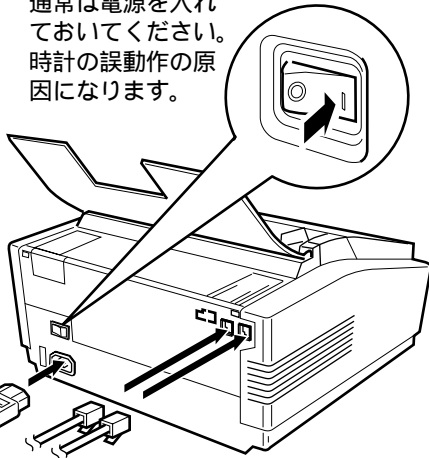
スタートボタン
ファクスの送信・受信や登録をするときに押します。

留守ボタン／ランプ
在宅受信と留守受信を切り替えるときに押します。（☛ P37）

コピーボタン
コピーをするときに押します。

ストップボタン
操作を途中でやめるときや、アラーム音を止めるときに押します。

取り付けかた

本機をご使用にあたって、NTTのレンタル電話が不要となった場合は、NTT(局番なしの116番)にご連絡いただければ、「機器使用料金」は不要となります。

●プリントカートリッジを取り付けて、用紙をセットしてから電源を入れてください。（☞P18、20）
●通常は電源を入れておいてください。時計の誤動作の原因になります。

●電話回線の設定

電話回線には、プッシュホン式と回転ダイヤル式があります。
「●電話回線の確認」でお宅の電話回線を確認してから、次の設定をしてください。

1. ファンクション ⑦ を押す
2. ④ セット を押す
3. ⓪ ⑥ セット を押す

```
06 ダ゛イヤル　キリカエ
 3：プ゛ッシュ（PB）
```

4. お宅の電話回線に合わせる
   - ①：回転ダイヤル式回線（10pps）の場合
   - ②：回転ダイヤル式回線（20pps）の場合
   - ③：プッシュホン式回線の場合
5. セット を押す
6. を押す

お知らせ ●設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

●電話回線の確認

間違えると電話がかからなかったり、間違った相手にかかることがあります。

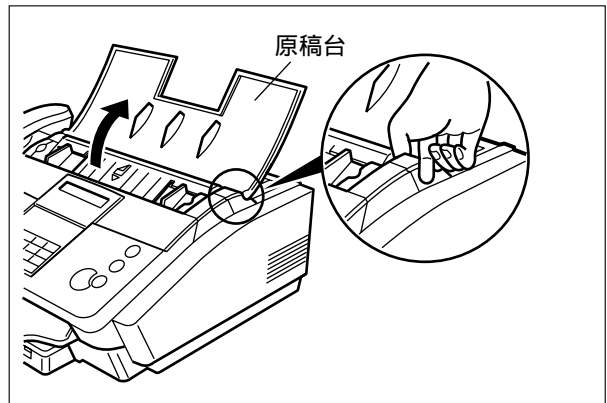
「2:20pps」にして"177（天気予報）"に電話する → かかったら「20pps」にする

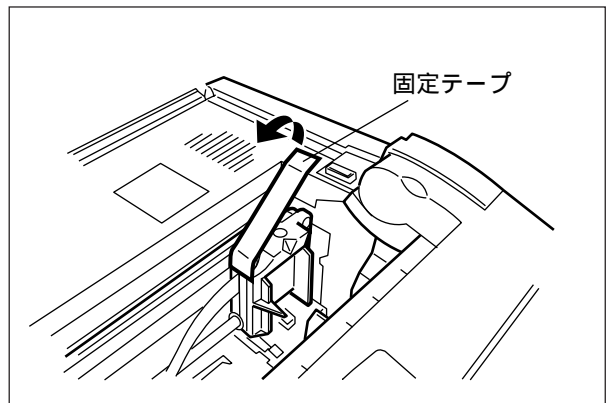
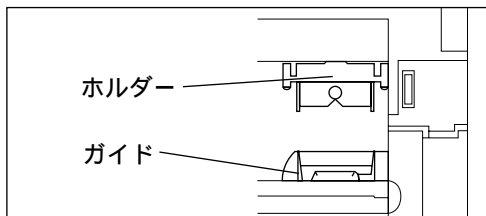
かからなかったら → 「1:10pps」にして"177（天気予報）"に電話する → かかったら「10pps」にする

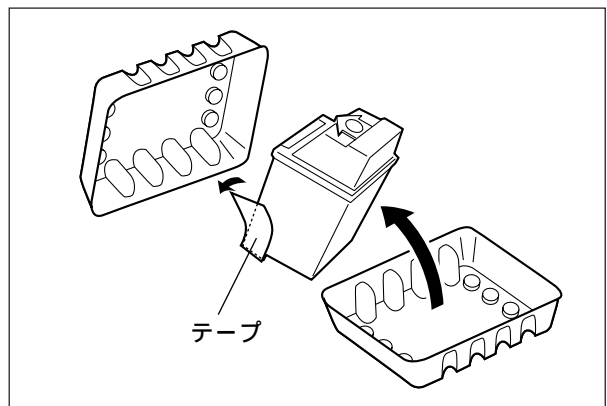
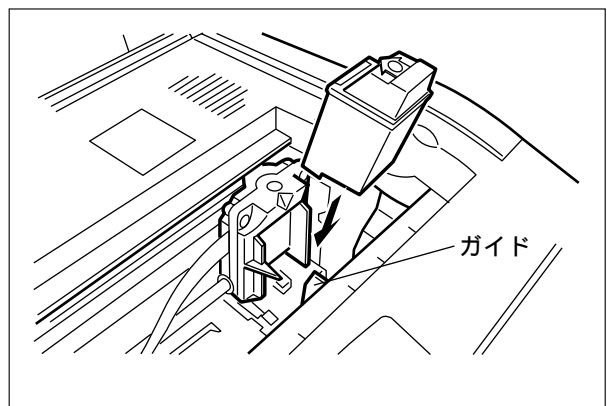
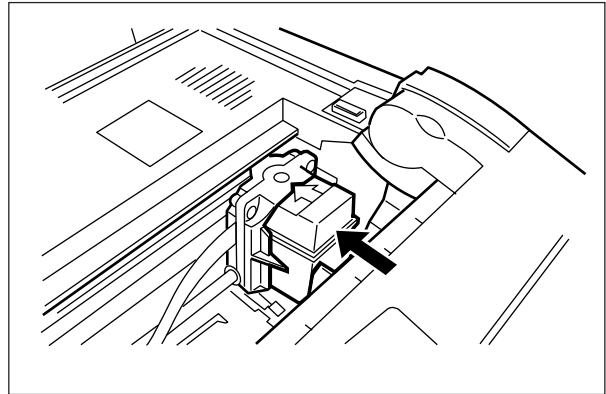
かからなかったら → 「3:PB」にする

お知らせ ●ご不明な点は、ご契約のNTT窓口へお問い合わせください。

プリントカートリッジの取り付け

1 原稿台を開けてから、受信ドアを開ける

2 固定テープをはがし、ホルダーをガイドの位置に合わせる

・ ホルダーを7mmほど左に動かして、ガイドの位置に合わせる。

3 新しいプリントカートリッジを取り出す

・ 先端のテープをはがす。

4 緑色のガイドに沿って、プリントカートリッジを差し込む

プリントカートリッジをセットする

受信ドアと原稿台を閉じる

お知らせ

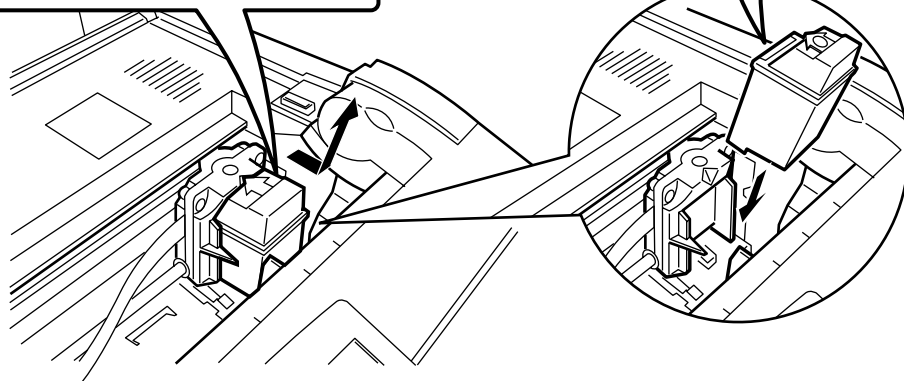
- プリントカートリッジの先端部には手を触れないでください。画質異常の原因になります。
- 受信ドアは確実に閉めてください。プリントカートリッジのインクが固まる原因になります。インクが固まったときは、87ページを参照して取り除いてください。

プリントカートリッジを交換する

ディスプレイに[インク　ガ　アリマセン]が表示されたら、プリントカートリッジを交換してください。

1 使用済みのプリントカートリッジを矢印の方向に倒す

2 使用済みのプリントカートリッジを取り出す

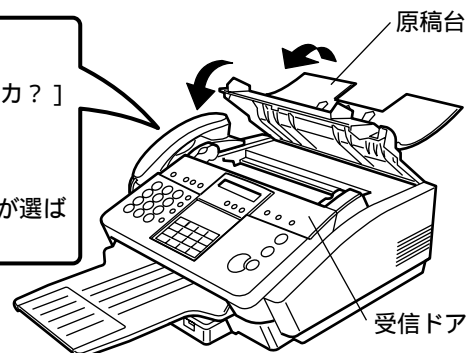
3 新しいプリントカートリッジをセットする

4 受信ドアと原稿台を閉じる

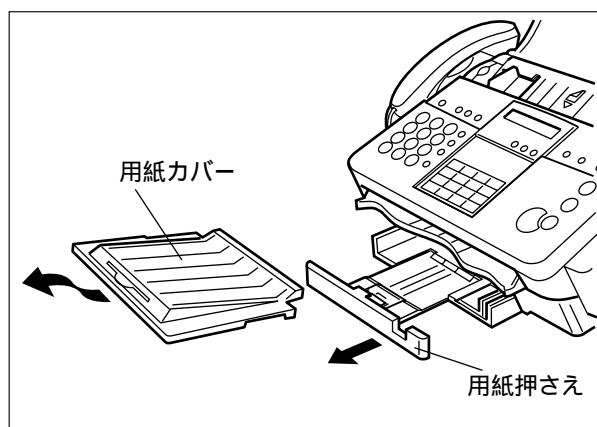
・ディスプレイに［カートリッジヲ　コウカン　シマシタカ？］が表示される。

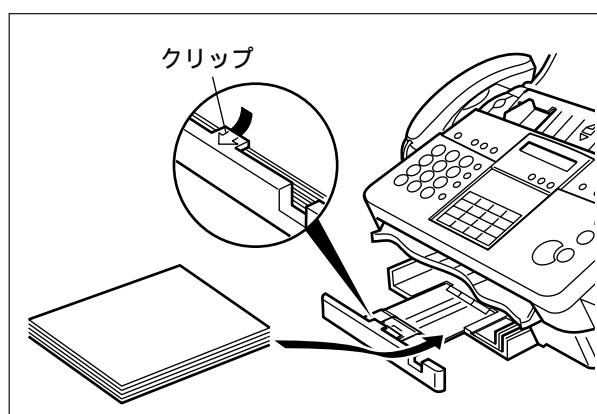
5 ①（ハイ）を押す

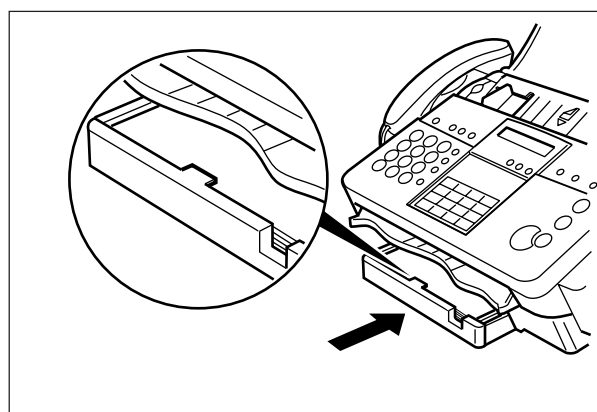
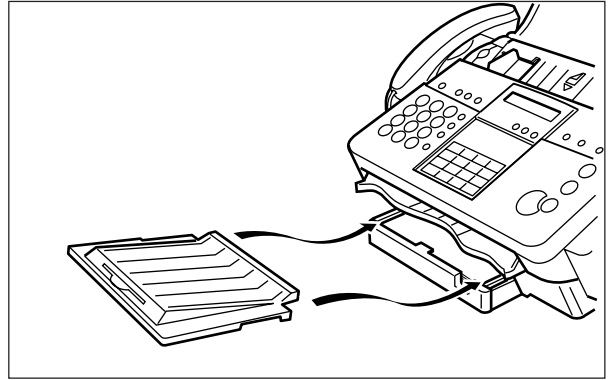
・約10秒間何もしないでいると、自動的に②（イイエ）が選ばれて待機状態に戻る。

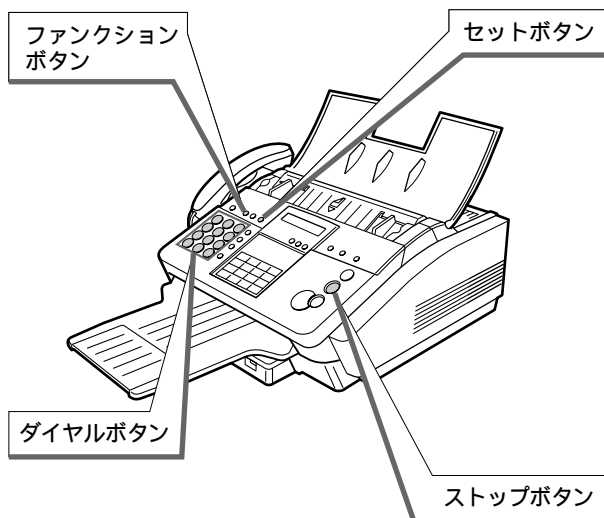
原稿台

受信ドア

用紙のセット

1　用紙カバーを外し、用紙押さえを手前に引く

2　用紙をセットする

・ 用紙押さえのクリップを超えてセットしない。（普通紙で約100枚まで）
・ A4サイズの用紙をお使いください。

3　用紙押さえを戻す

・ 用紙の先端を揃える。

用紙カバーを取り付ける

お知らせ

- 当社指定の用紙をお使いください(品番:UG-0601A4)。ご注文はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 当社指定外の用紙をお使いの場合、記録品質への悪影響や、故障の原因となります。当社指定の用紙をお使いください。
- 折り目やシワのある用紙はセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙を追加するときは、残っている用紙の下にセットしてください。またプリント中は追加しないでください。紙づまりの原因になります。

時計のセット

日付と時刻をセットします。

1 ファンクション ◎ ⑦を押す

2 ① セット ◎を押す

3 年月日・時分を入れる

例:「1997年6月30日　午後3時30分」

①⑨⑨⑦ ⓪⑥ ③⓪ ①⑤ ③⓪

年　月　日　時　分

(時刻は24時間制で入れます。)

```
ジ コク  セット
    1997−06−30 15:30
```

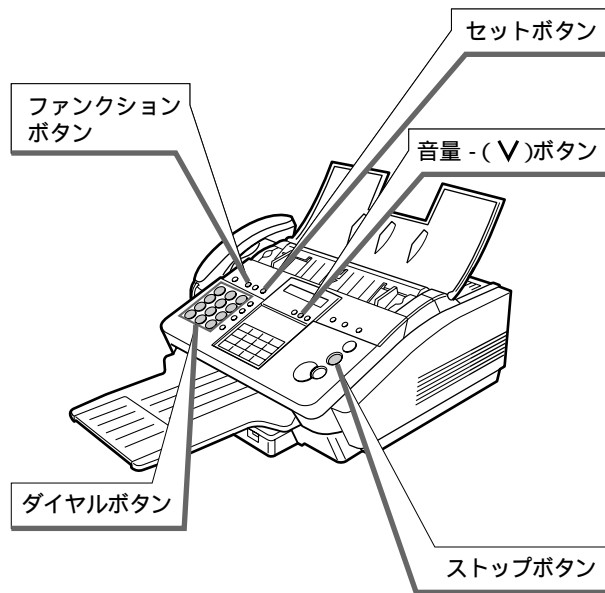
4 セット ◎を押す

5 ストップ を押す

・ 登録した日時が表示される。

```
1997−06−30 15:30
                 00%
```

お知らせ

- セットを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 本機の時計精度は平均月差±60秒以内になっています。ずれているときは、最初からセットし直してください。
- 月日・時分が1ケタの場合は、数字の前に「0」を入れてください。
- 間違えたときは< >ボタンを押して入れ直してください。

発信元情報の登録

発信元にあなたの会社名や電話番号などを登録しておけば、ファクスを送ったときに相手の用紙先端に登録した内容をプリントすることができます。

1 ファンクション ◎ ⑦を押す

2 ① セット ◎を押す

3 V ◯を押す

ハッシンモト＝■
（ーアイウエオカキクケコサシスセソ）

4 発信元（最大25文字）を入れる（★）
- 文字入力のしかた（☞P24）

5 セット ◎ ストップ を押す

文字IDの登録

通信中、相手のディスプレイにこちらの名前などを表示することができます。

1 ファンクション ◎ ⑦を押す

2 ① セット ◎を押す

3 V ◯を2回押す

モジ　ＩＤ＝■
（ーアイウエオカキクケコサシスセソ）

4 文字ID（最大16文字）を入れる（★★）
- 文字入力のしかた（☞P24）

5 セット ◎ ストップ を押す

お知らせ

- 登録を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 登録した文字IDは通信相手が当社機の場合に限り、相手のディスプレイに表示されます。（ただし、一部表示しない場合もあります。）

★ 登録した発信元を削除するときは、手順*4*でクリアーボタンを押してください。

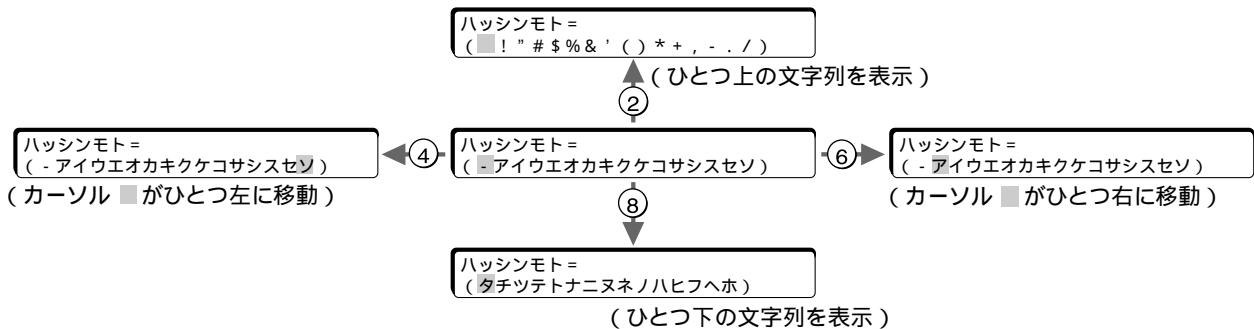
★★登録した文字IDを削除するときは、手順*4*でクリアーボタンを押してください。

文字入力のしかた

ワンタッチダイヤルなどの宛先名や発信元情報・文字IDなどにカタカナや英字などを入力できます。

文字の選びかた

ディスプレイ下段に表示される「文字列一覧表」を切り替えて入力する文字を選びます。入力する文字の上にカーソル(■)を移動させてください。
カーソルはダイヤルボタンの「②④⑥⑧」を使って移動させます。

ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
SP	。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	SP	SP
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
SP	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	ー	.	／

文字の入れかた

文字を選んだらダイヤルボタンの⑤で入力します。

例:「ア」を入れるとき

文字を入れる

例:「マツシタ」を入れる場合。

1
⑧を1回 ④を1回押し、⑤で入力する

```
ハッシンモト=マ■
（タチツテトナニヌネノハヒフヘホマ）
```

2 ⑥を3回押し、⑤で入力する

```
ハッシンモト=マツ■
（タチツテトナニヌネノハヒフヘホマ）
```

3 ②を1回 ④を6回押し、⑤で入力する

```
ハッシンモト=マツシ■
（ーアイウエオカキクケコサシスセソ）
```

4
⑧を1回 ⑥を4回押し、⑤で入力する

```
ハッシンモト=マツシタ■
（タチツテトナニヌネノハヒフヘホマ）
```

お知らせ

- スペースを入れたいときは、文字列一覧表の「SP」の部分を選ぶか>ボタンを押してください。
- 数字を入力するときも「文字列一覧表」で選んでください。ダイヤルボタンで入力したい数字を押すだけでは入力できません。

●入力した文字を変更する

1 濃度 Ⓢ を押してカーソルを変更する文字の上に移動する

```
ハッシンモト=マツシタ
（ーアイウエオカキクケコサシスセソ）
```

2 変更する文字を入力する

```
ハッシンモト=マツシタ
（ーアイウエオカキクケコサシスセソ）
```

お知らせ

- 文字を一部分だけ変更するときは、< >ボタンでカーソルを変更する文字の上に移動させてから、変更する文字を入力してください。
- 文字を一文字だけ消去したいときは、< >ボタンでカーソルを消去する文字の右隣に移動させてから、クリアーボタンを押してください。

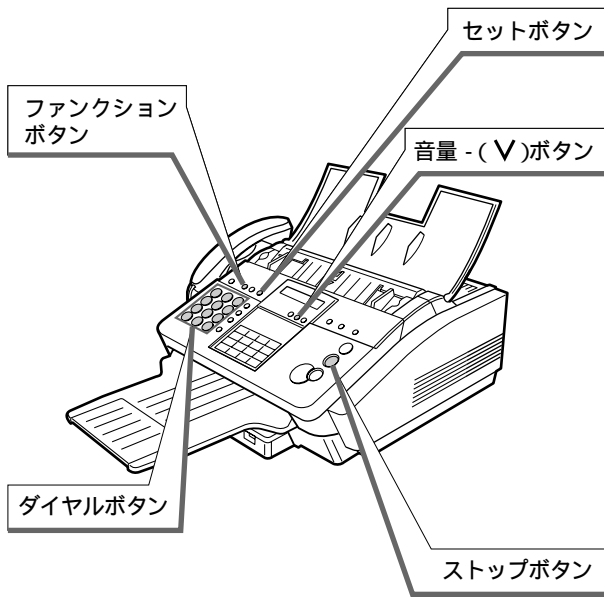
●入力した文字を消去する

1 濃度 Ⓢ を押してカーソルを先頭に移動する

```
ハッシンモト=マツシタ
（ーアイウエオカキクケコサシスセソ）
```

2 クリアー ◎ を押す

```
ハッシンモト=■
（ーアイウエオカキクケコサシスセソ）
```

3 セット ◎ を押す

数字IDの登録

通信中、相手のディスプレイにこちらの電話番号などを表示させることができます。

1 ファンクション ◎ ⑦を押す

2 ① セット◎を押す

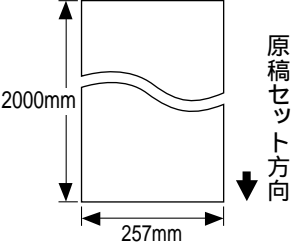
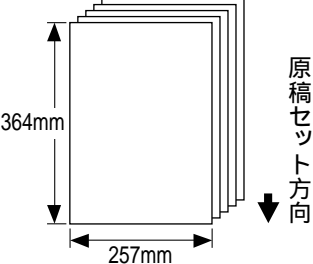
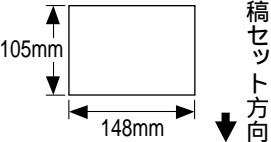
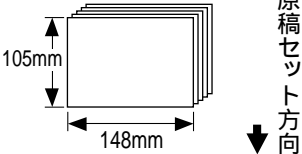
3 V◯を3回押す

スウジ　　ID　トウロク
■

4 数字ID（最大20ケタ）を入れる（★）

5 セット◎を押す

6 ストップを押す

お知らせ

- 登録を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 数字IDにスペースを登録するときはモニターボタン、「＋」を登録するときは㊍を押してください。

★ 登録した電話番号を削除するときは、手順*4*でクリアーボタンを押してください。

セットできる原稿について

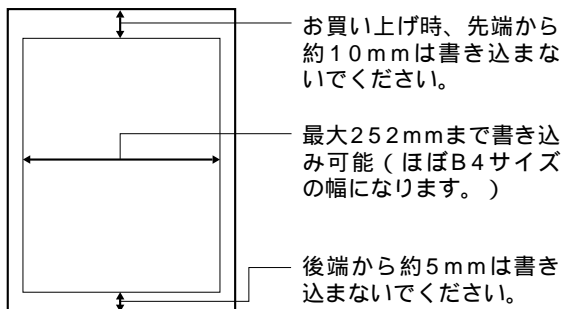
原稿のサイズ

	1枚だけセットするとき	複数枚の原稿をセットするとき
最　　大	2000mm × 257mm 原稿セット方向	364mm × 257mm 原稿セット方向
最　　小	105mm × 148mm 原稿セット方向	105mm × 148mm 原稿セット方向
1度にセットできる枚数	――――	20 枚
原稿の紙厚	0.06 ～ 0.15mm	0.06 ～ 0.12mm
原稿の紙質	上質紙相当（表、裏ともコーティングのないもの）	

● 複数枚の原稿をセットするときは、ほぼ同一サイズ・同質のものをセットしてください。

有効画面と原稿についてのお知らせ

■有効画面

原稿の端に文字などを書くと、相手の記録紙にプリントされないことがあります。

お知らせ

● 74ページで「発信元印字」の設定値を変更したときは、先端から約5mmへの書き込みはしないでください。

■ キャリアシートとは原稿を保護するシートです。お求めはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 複数枚の原稿をセットするときは、キャリアシートをお使いになれません。

■原稿についてのお知らせ

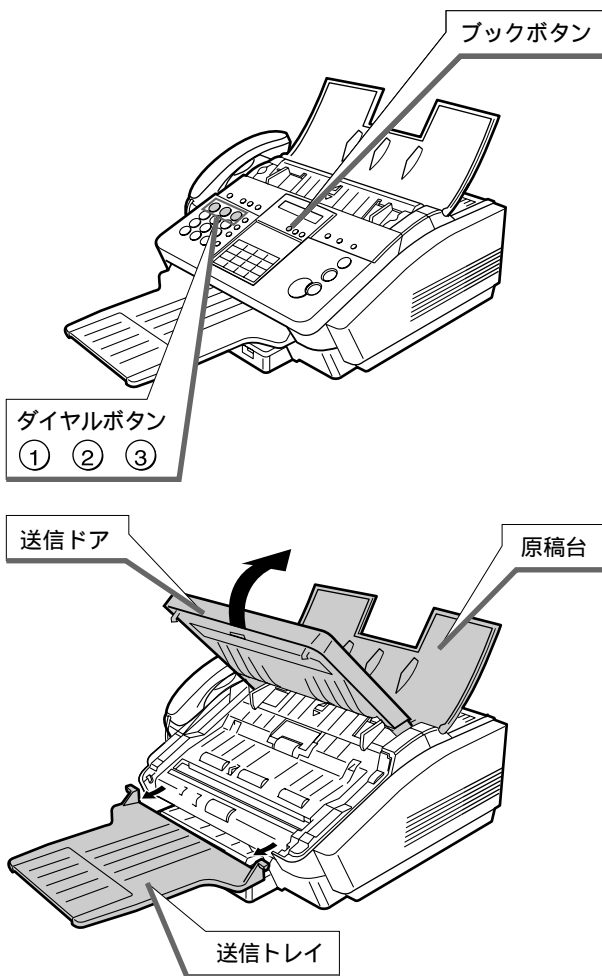
● インクなどの乾いていない原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。

● 原稿にクリップやホチキスの針を付けたままセットしないでください。故障の原因となります。

次のような原稿は複写機でコピーするか、キャリアシート（別売）に挟んでからセットしてください。

原稿の状態	コピー	キャリアシート
紙厚の薄い原稿（0.06mm 未満）	○	○
紙厚の厚い原稿（0.15mm を超える）	○	×
フィルムやトレーシングペーパーなど透明な原稿	○	○
感圧紙・裏カーボン紙など化学処理をした原稿	○	○
破れ・しわ・カールや折り目のついた原稿	○	○
148mm × 105mm よりも小さい原稿	○	○
布地・金属シートや印画紙	○	×
貼り合わせた原稿	○	×
写真	○	×

本や厚い原稿を読み取る（ブックフィーダー）

本などの冊子や厚みのある原稿を送信・コピーできます。

1 ブック◯を押す

```
ブ ック ヨミトリ          NO. =
1:A4  2:B4
```

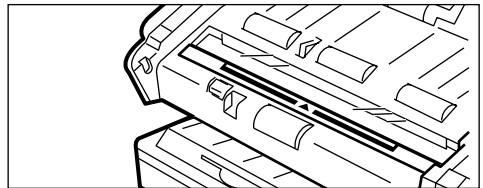
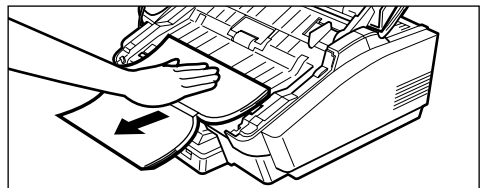
2 ①または②を押して原稿のサイズを選ぶ

①：A4幅より小さい原稿。
②：A4幅より大きい原稿。

```
ブ ック ヨミトリ
ソウシン ド ア ヲ アケテクダ サイ
```

3 原稿台を開けてから、送信ドアを開けて、送信トレイを取りはずす

4 原稿の端を緑色のシールに合わせる

- 冊子を読み取る場合は、本の中央を緑色のシールに合わせる。
- 読み取った原稿は、メモリーに蓄積される。

5 読み取る原稿を軽く押さえる

6 「ピッピッピッピッー」と鳴り、読取開始

- 「ピッピッピッピッー」が聞こえたあとローラーが自動的に回転し、原稿が送られる。

7 原稿が送り出され、1ページ分の読み取りが終わる

- 続けて原稿の読み取りをするときは、手順*4*からの操作を繰り返す。

8 全ての原稿を読み取ったら、送信トレイを取り付けて、送信ドアを閉じる

```
ブ ック ヨミトリ          NO. =
1:コピ ー  2:ソウシン  3:スキャナ
```

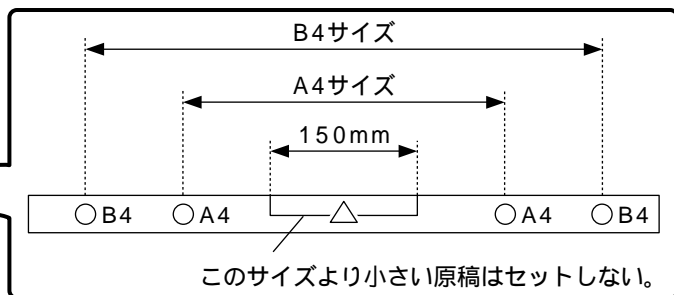
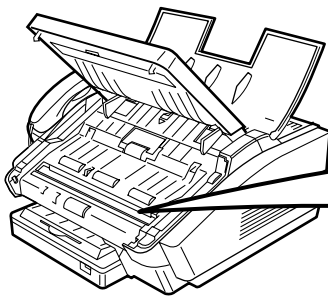
9 ①〜③を押して、コピーや送信などの操作をする

①：コピーをするとき。(☞P47)
②：ファクスの送信をするとき。(☞P30)
③：接続したパソコンなどに原稿を送信するとき。(☞P71)

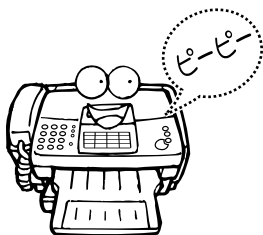
お知らせ

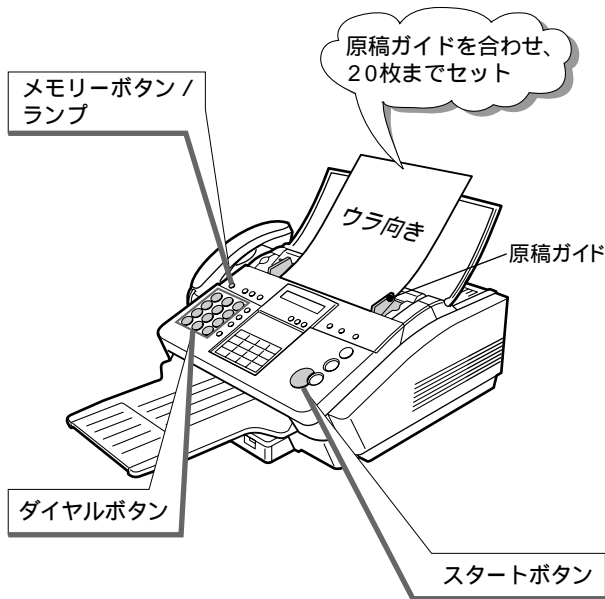
- 読み取りを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- ブックフィーダーをお使いのときは、「文字サイズ」を選ぶことはできません。原稿に合わせて「ハーフトーン」と「濃度」を選ぶときは、31ページを参照してください。
- 手順2のディスプレイ表示を確認してから送信ドアを開けてください。表示が出ていないうちに開けると、原稿の読み取りができなくなります。
- 各操作の間隔は60秒以内にしてください。60秒以上たつと、原稿の読み取りや送信・コピーなどができなくなります。
- ブックフィーダーは原稿を手で押さえてローラーを送りながら読み取るため、文字や線などが曲がったりゆがんだりすることがあります。

原稿をセットするときは

●原稿のサイズが分からないときは、本体内部の緑色のシールを使って原稿の大きさを確認してください。

その他にも…
- 原稿を強く押さえない→故障や原稿の破れなどの原因となります。
- 原稿をセットする前に本体のセンサー(黒)を押さない→原稿の読み取りを始めます。
- サイズの異なる原稿を読み取るとき
  →大きい原稿に合わせて原稿の大きさを選んでください。1ページ毎に原稿の大きさを選ぶことはできません。

原稿読取中にメモリーがいっぱいになると

メモリーにはA4標準原稿(A4サイズ 700字程度の原稿)を約30枚まで読み込むことができます。
原稿読取中にメモリーがいっぱいになると、アラーム音が鳴ります。

お知らせ

- メモリーに読み取った原稿を送信・コピーなどしたくないときは、ストップボタンを押してください。

直接ダイヤルで送る

メモリー ランプ消灯状態で

・ 点灯しているときは、押して消灯させる。

1 図のようにして原稿をセットする

・ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☞P31）

2 ダイヤルする（最大36ケタ）

```
スタート　デ　　ダ イヤル　カイシ
0334919191■
```

3 スタート を押す

お知らせ

- ダイヤルを間違えたときは、ストップボタンを押してやり直してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップボタンを押したあとに①（ハイ）を押してください。
- 直接ダイヤルではダイヤルボタン（0〜9、＊、＃）、ポーズ（再ダイヤル/ポーズボタン）、トーン（⊛）が使えます。
- 相手の電話番号が37ケタ以上の場合は、手動送信をしてください。（☞P35）

原稿をメモリーに読み込んでから送る（メモリー送信）

お知らせ

- 手順4で「ピピピ」と鳴り原稿を読み取らないときは、メモリーランプを消灯させてから送信し直してください。
- 原稿読取中にメモリーがいっぱいになったときは、31ページ「メモリーがいっぱいになると」の操作をしてください。

画質の選びかた

セットした原稿に合わせてハーフトーン・文字サイズ・濃度を選ぶことができます。
- ハーフトーンを選ぶとき：写真やカタログなどの原稿を送るとき選んでください。
- 文字サイズを選ぶとき：原稿の文字の大きさに合わせて選んでください。
- 濃度を選ぶとき：原稿の濃さに合わせて選んでください。

ハーフトーンを選ぶ

ハーフトーンボタンを押して切り替えます。

- ハーフトーンランプ点灯
  →写真やカタログなどの原稿を送信・コピーするとき
- ハーフトーンランプ消灯
  →ハーフトーンを使わないで送信・コピーするとき

文字サイズを選ぶ

文字サイズボタンを押して切り替えます。

- 小さいランプ点灯
  →新聞などのように細かい文字の原稿
- 細密ランプ点灯
  →特に細かい文字の原稿
- ランプが消灯しているとき
  →普通の大きさの文字の原稿

濃度を選ぶ

濃度ボタンを押して切り替えます。

- うすくランプ点灯
  →色紙などのように紙の色の濃い原稿
- こくランプ点灯
  →原稿の文字がうすい原稿
- ランプが消灯しているとき
  →普通の濃さの原稿

お知らせ

- よくお使いになる画質を登録しておけば、原稿をセットするたびに設定を変える手間が省けます。（☞P74）
- 相手が「細密」で受信できない場合、細密をセットしても「小さい」で送信されます。
- ハーフトーンをセットすると、文字サイズは自動的に「小さい」になります。
- 文字サイズを「小さい」や「細密」にセットしたり、ハーフトーンをセットすると、メモリーの使用量が多くなります。

メモリーがいっぱいになると

メモリーがいっぱいになると

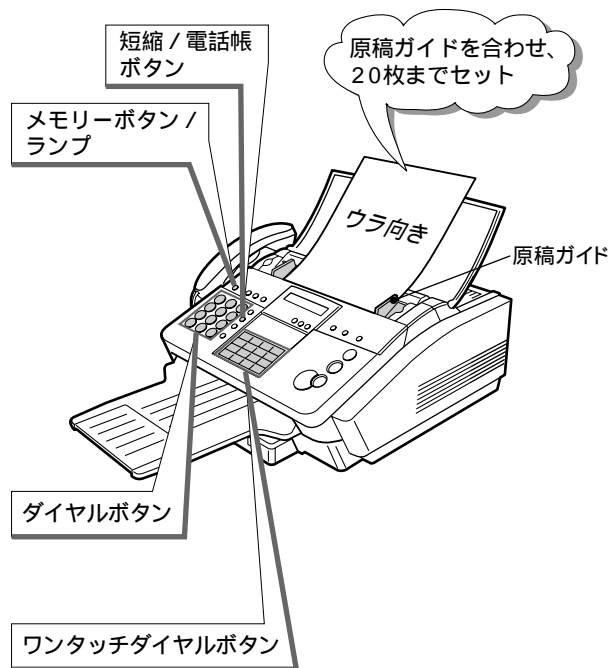
1 アラーム音が鳴り、メモリーに蓄積した枚数が表示される

```
×× ヘ゜ージ　カンリョウ
トリケシ　?　1：ハイ　2：イイエ
```

2 ① または ② を選ぶ

①：**メモリーの内容を消去。**
②：**表示されているページまで送信。**

お知らせ

- ①のメモリー内容消去を選んだときは、メモリーランプを消灯させてから送信し直してください。
- ②のメモリー内容送信を選んだときは、送信終了後、残りの原稿を送信し直してください。（"30ページ"と表示しているときは、31ページ目から）
- 取り消しの選択画面が表示されてから約10秒間何もしないでいると、自動的にメモリーの内容の送信を始めます。

ワンタッチダイヤルで送る

あらかじめワンタッチダイヤル(01〜16)に電話番号を登録しておいてください。(☛P72)

メモリー ランプ消灯状態で

・ 点灯しているときは、押して消灯させる。

1 図のようにして原稿をセットする

・ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。(☛P31)

2 ワンタッチダイヤル(01〜16)を押す

```
<01> マツシタ デ ンソウ
0334919191
```

3 宛先にダイヤルし、送信開始

```
*ダ イヤル シテイマス*
<01> マツシタ デ ンソウ
```

短縮ダイヤルで送る

あらかじめ短縮ダイヤル(01〜34)に電話番号を登録しておいてください。(☛P72)

メモリー ランプ消灯状態で

・ 点灯しているときは、押して消灯させる。

1 図のようにして原稿をセットする

・ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。(☛P31)

2 短縮/電話帳 を押す

3 短縮番号(01〜34)を選ぶ

・ ダイヤルボタンで短縮番号を選ぶ。

```
[01] トウキョウ ホンシャ
0354347184
```

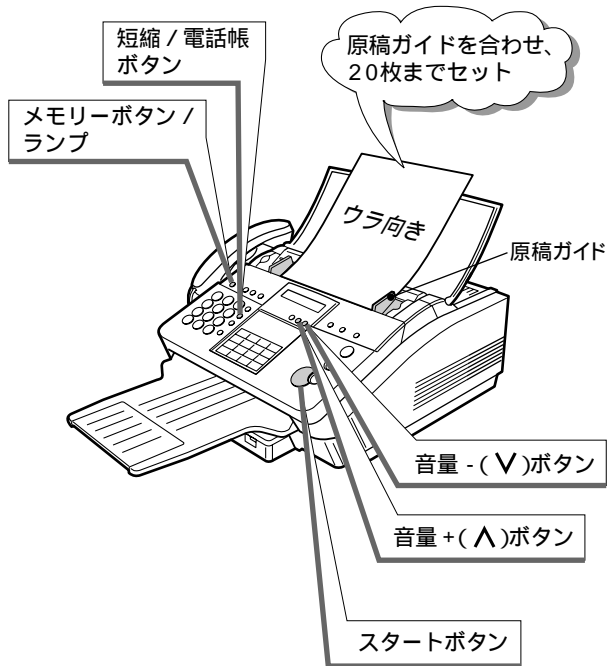
4 宛先にダイヤルし、送信を始める

```
*ダ イヤル シテイマス*
0354347184
```

お知らせ

● ダイヤルを間違えたときは、ストップボタンを押してください。ダイヤルが始まっているときは、ストップボタンを押したあとに①(ハイ)を押してください。

電話帳ダイヤルで送る

短縮ダイヤルに登録（☞P72）してある宛先を、五十音順に探してダイヤルすることができます。

メモリー ランプ消灯状態で

・ 点灯しているときは、押して消灯させる。

1 図のようにして原稿をセットする

・ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☞P31）

2 短縮/電話帳 を押す

3 ∨または∧を押して宛先を選ぶ

・ 短縮ダイヤルに登録されている宛先が、五十音順に表示される。

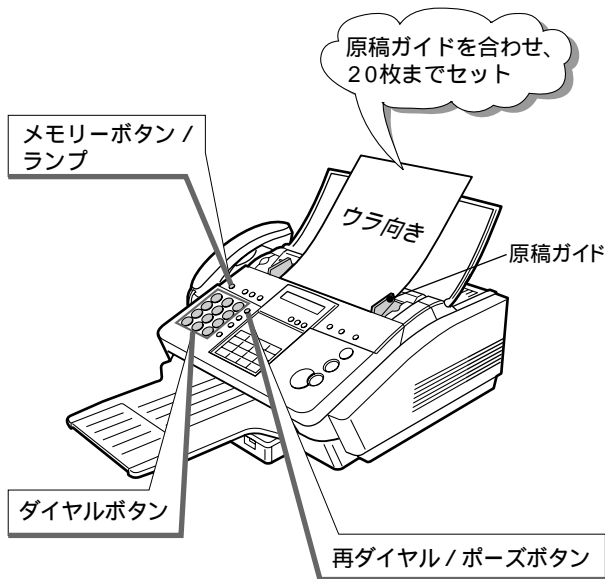
4 スタート を押す

お知らせ

● 宛先を間違えたときは、ストップボタンを押してください。
● 送信を途中でやめるときは、ストップボタンを押したあとに①（ハイ）を押してください。
● 短縮ダイヤルに宛先が登録されていないときは、手順3で「ピピピ」が聞こえます。

同じ相手にもう一度送る（再ダイヤル）

最後にかけた相手に、もう一度ファクスを送ります。

メモリー ランプ消灯状態で

・ 点灯しているときは、押して消灯させる。

1 図のようにして原稿をセットする

・ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☞ P31）

2 再ダイヤル／ポーズ を押す

```
TEL. NO.
0334919191
```

3 宛先にダイヤルし、送信を始める

```
*ダ゛イヤル シテイマス*
0334919191
```

お知らせ

● 送信を途中でやめるときは、ストップボタンを押したあとに①（ハイ）を押してください。
● 最後にかけた電話番号が37ケタ以上の場合、36ケタ分までしかダイヤルできません。

自動再ダイヤル

相手が電話中などでつながらなかった場合、約3分間隔で2回まで自動的に再ダイヤルします。

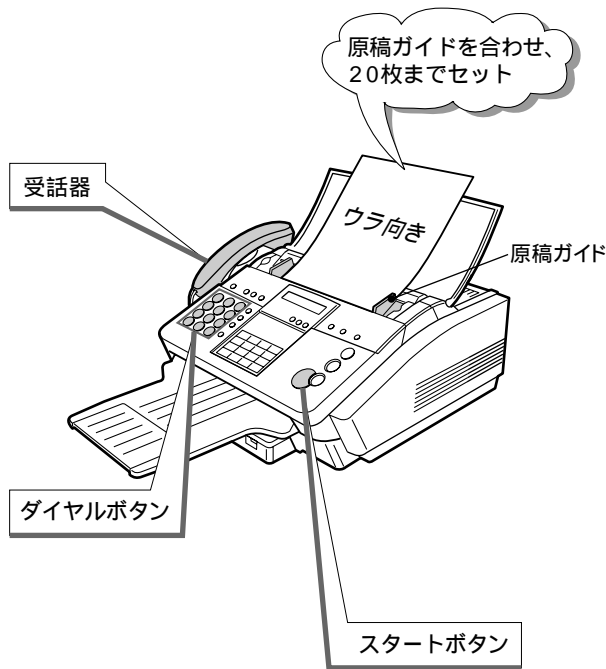
● 再ダイヤル待ちのとき
→［ダイヤルマチ］が2秒毎に表示されます。

● 再ダイヤルを取り消すには
→ ストップボタンを押したあと①（ハイ）を押してください。

● 再ダイヤル待ちのときは
→ 電話番号の登録など、各種登録ができなくなります。

● 再ダイヤル待ち中にファクスの送信をするには
→ メモリー送信で再ダイヤル待ちのときは、通常通りに送信してください。
→ ダイレクト送信で再ダイヤル待ちのときは、ストップボタンを押したあと①（ハイ）を押して再ダイヤル待ちを取り消してから送信してください。

● 自動再ダイヤルをしてもつながらないときは［サイツウシン ガ ヒツヨウデス］が表示されます
→［サイツウシン ガ ヒツヨウデス］が表示され通信結果レポートがプリントされない場合は、ストップボタンを押してから送信し直してください。
→［サイツウシン ガ ヒツヨウデス］が表示され通信結果レポートがプリントされる場合は、そのまま送信し直してください。

相手と話してから送る（手動送信）

1 図のようにして原稿をセットする
- 原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☞ P31）

2 受話器を上げ、ダイヤルする
- 30〜34ページを参照してダイヤルする。
- 相手には受信操作をしてもらうように伝える。

3 「ピーヒョロロ」が聞こえたら を押す

4 受話器を戻す（★）
- 送信開始。

お知らせ
- ● 宛先の電話番号を間違えたときは、受話器を戻してからダイヤルし直してください。
- ● 手順2で受話器を上げるかわりにモニターボタンを押してもダイヤルできます。
- ● 電話がかかってきた場合でもファクスを送れます。原稿をセットしてスタートボタンを押してください。
- ★ スタートボタンを押す前に受話器を戻すと電話が切れます。

ダイヤルをやめるとき

送信やポーリング受信で宛先を間違えたときなど、ダイヤルを中止することができます。

●メモリーを使わないで送信したとき

1 ダイヤル中

```
*ダ゛イヤル シテイマス*
0334919191
```

2 ストップ を押す

```
ソウシン テイシ ?
1:ハイ 2:イイエ
```

3 ① または ② を選ぶ

①：ダイヤルを中止。
②：ダイヤル中の表示に戻る。

●メモリー送信やポーリング受信など

1 ダイヤル中

```
*ダ゛イヤル シテイマス*
0334919191
```

2 ストップ を押す

```
ソウシン テイシ ?
1:ハイ 2:イイエ
```

3 ① または ② を選ぶ

①：ダイヤルを中止して、手順4へ進む。
②：ダイヤル中の表示に戻る。

4

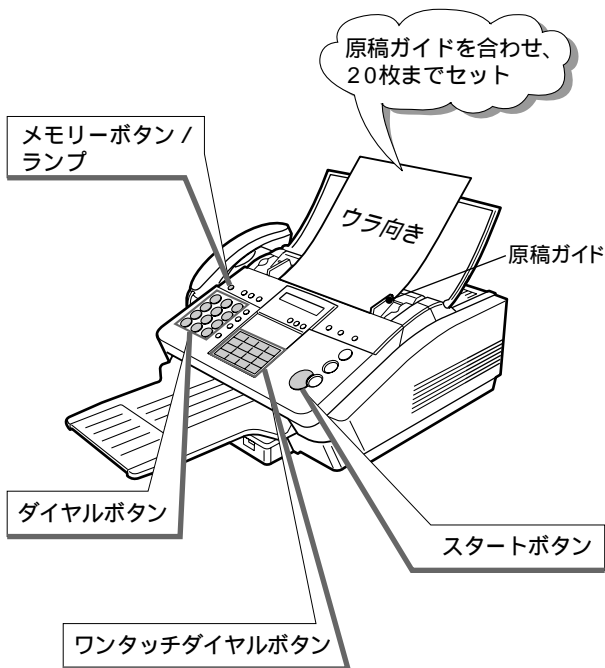
```
ツウシンケッカレポ゜ート フ゜リント ?
1:ハイ 2:イイエ
```

5 ① または ② を選ぶ

①：消去後、通信結果レポートをプリント。
②：通信結果レポートをプリントしない。

お知らせ
- ● ストップボタンを押してから約10秒何もしないでいると、引き続き通信を行います。
- ● 順次同報送信をしているときに①（ハイ）を選ぶと、指定したすべての宛先への送信を中止します。宛先ごとに送信を中止することはできません。

一度にいろいろな宛先に送る（順次同報送信）

一回の操作で、複数の宛先（最大62宛先）へ同じ原稿を送信できます。

メモリー ランプ点灯状態で

・ 消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のようにして原稿をセットする

・ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☛ P31）

2 複数の宛先を選ぶ

・ 複数宛先の指定のしかた。

3 スタート を押す

・ 原稿読取開始。

お知らせ

● 送信を途中でやめるときは、ストップボタン、①（ハイ）と押したあと、①または②を押して通信結果レポートのプリントを選んでください。

● 原稿読取中にメモリーがいっぱいになったときは、31ページ「メモリーがいっぱいになると」の操作をしてください。

複数宛先の指定のしかた

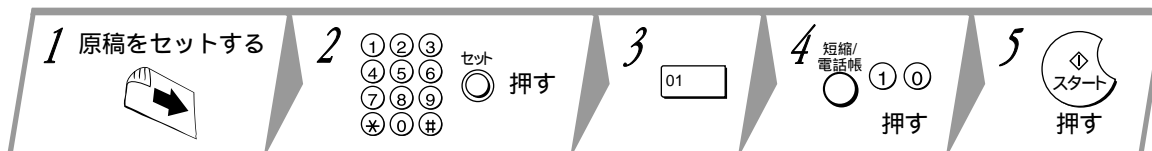
宛先はダイヤルボタンで12カ所、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルで50カ所の計62カ所まで指定できます。

●ダイヤルボタンで選ぶ→宛先の電話番号＋セット

●ワンタッチダイヤルで選ぶ
→指定するワンタッチダイヤルボタンを押す

●短縮ダイヤルで選ぶ→短縮/電話帳＋指定する短縮番号

●電話帳ダイヤルを使って選ぶ→短縮/電話帳＋音量 ∨ − ∧ ＋で宛先を選ぶ＋セット

例：「0334919191」「ワンタッチダイヤル1」「短縮ダイヤル10」を指定する

お知らせ

● 複数宛先指定の途中で∨∧ボタンを押すと、指定した宛先の確認ができます。また、セットボタンを押すと、指定した宛先数が確認できます。

● 間違った宛先を指定したときは、∨∧ボタンで宛先を表示させてからクリアーボタンを押してください。

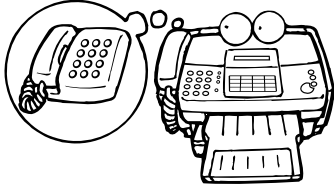
● ダイヤルボタンで指定できる宛先は、全てのファイルを通じて12ヶ所までです。

ファクスの受けかたを選ぶ

受けかたを選んでください

ファクスの受けかたには下の4つがあります。使いかたに合わせてお選びください。

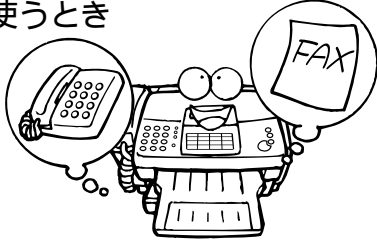
在宅受信

電話を使うことが多いとき

「手動受信」にセット

在宅受信の設定を[シュドウ]にしてください。（☞P38）

留守ランプ消灯

留守ボタンを押して消灯。詳しくは、39ページを参照してください。

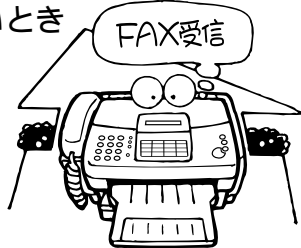
電話もファクスも両方よく使うとき

「ファクス／電話自動切替」にセット

在宅受信の設定を[F/T キリカエ]にしてください。（☞P38）

留守ランプ消灯

留守ボタンを押して消灯。詳しくは、39ページを参照してください。

留守受信

ファクス受信専用にしたいとき

「ファクス専用」にセット

留守受信の設定を[FAXセンヨウ]にしてください。（☞P38）

留守ランプ点灯

留守ボタンを押して点灯。詳しくは、40ページを参照してください

外出することが多いとき

「留守録接続」にセット

留守受信の設定を[ルスロク　セツゾク]にしてください。（☞P38）

留守ランプ点灯

留守ボタンを押して点灯。詳しくは、40ページを参照してください

在宅受信の設定

[シュドウ]または[F/Tキリカエ]の設定をします。
お買い上げ時は、[シュドウ]になっています。

4 ① または ② を押す ①：手動受信 ②：ファクス／電話自動切替
5 セット を押す
6 ストップ を押す

お知らせ
● 設定を途中でやめるときはストップボタンを押してください。

留守受信の設定

[FAXセンヨウ]または[ルスロクセツゾク]を選びます。
お買い上げ時は、[FAXセンヨウ]になっています。

4 ① または ② を選ぶ ①：ファクス専用 ②：留守録接続
5 セット を押す
6 ストップ を押す

お知らせ
● 設定を途中でやめるときはストップボタンを押してください。

手動受信にセットしているとき

本機を[シュドウ]にセットしているときの動作を説明します。

相手が電話のとき

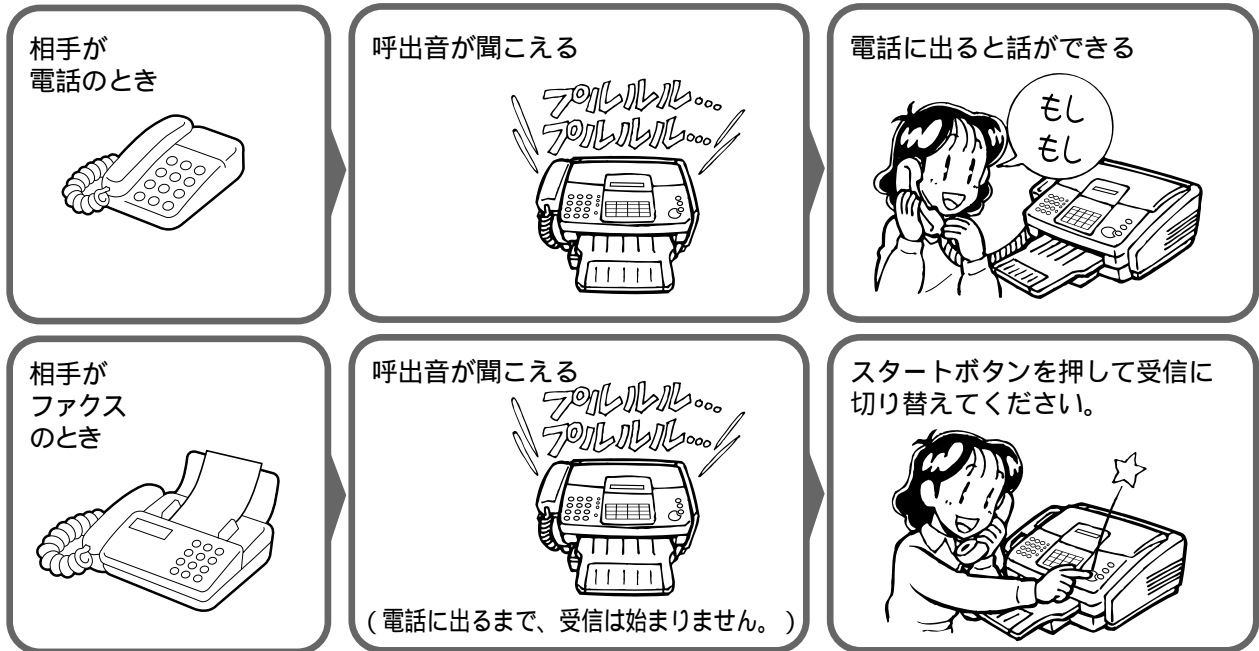
呼出音が聞こえる

電話に出ると話ができる

相手がファクスのとき

呼出音が聞こえる

（電話に出るまで、受信は始まりません。）

スタートボタンを押して受信に切り替えてください。

お知らせ

● 手動受信にセットしたときは、相手が自動送信のファクスでも自動的に受信は始まりません。呼出音が鳴りますので、受話器を取ってから受信操作をしてください。(☞P42)

ファクス／電話自動切替にセットしているとき

本機を[F/Tキリカエ]にセットしているときの動作を説明します。

相手が電話のとき

呼出音を鳴らすことができます ★1

→ ここから電話料金がかかります。

★2「ただいま呼び出しております。」

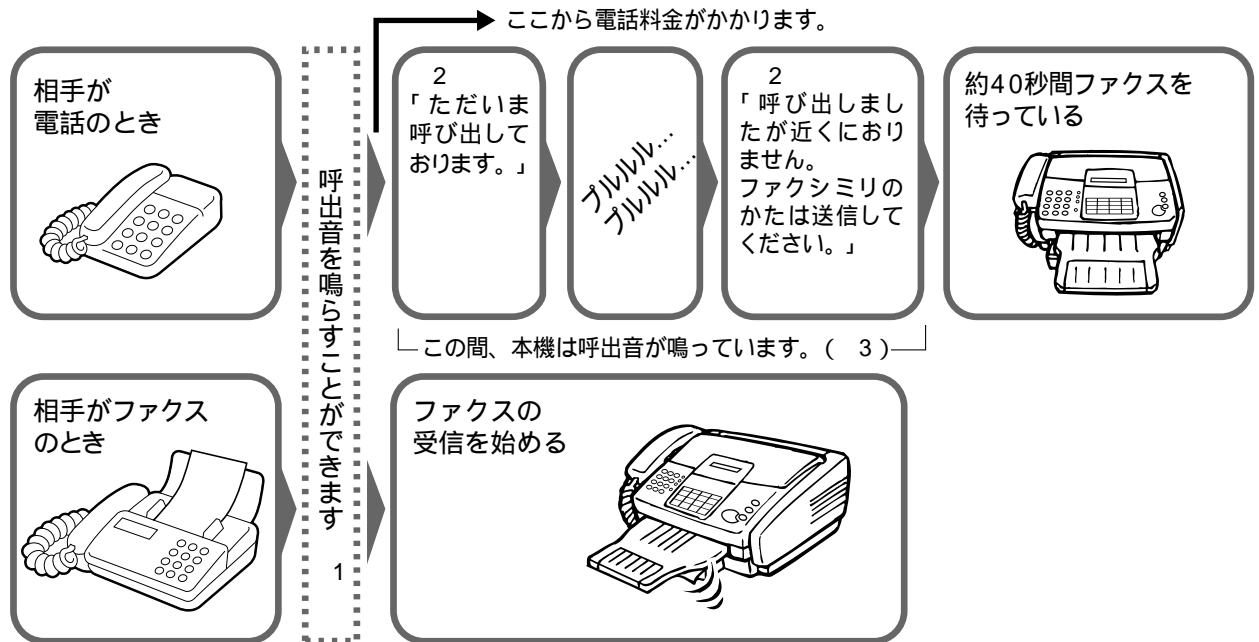
プルルルル…プルルルル…

★2「呼び出しましたが近くにおりません。ファクシミリのかたは送信してください。」

約40秒間ファクスを待っている

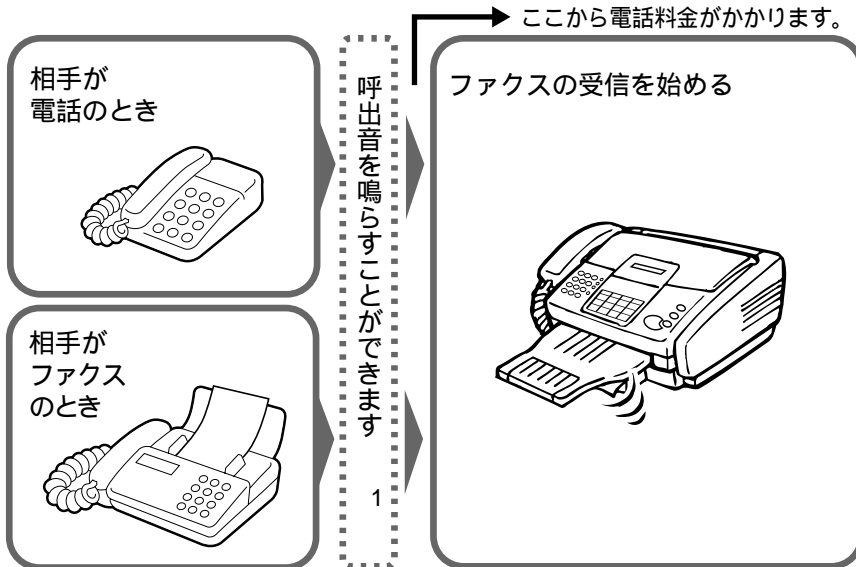
この間、本機は呼出音が鳴っています。（★3）

相手がファクスのとき

ファクスの受信を始める

お知らせ

● ★1で呼出音を鳴らすことができます。「着信ベル回数」の設定をしてください。(☞P41)
● ★2で音声のかわりに呼出音を流すことができます。「F／T音声応答」の設定をしてください。(☞P41)
● ★3で呼出回数を変更することができます。「F／Tベル回数」の設定をしてください。(☞P41)

ファクス専用にセットしているとき

本機を[FAXセンヨウ]にセットしているときの動作を説明します。
お買い上げ時は、この状態にセットされています。

お知らせ

- ファクス専用にセットしているときは、電話に出ることはできません。
- ★1で呼出音を鳴らすことができます。「着信ベル回数」の設定をしてください。（☞P41）

留守録接続にセットしているとき

本機を[ルスロクセツゾク]にセットしているときの動作を説明します。

ここから電話料金がかかります。

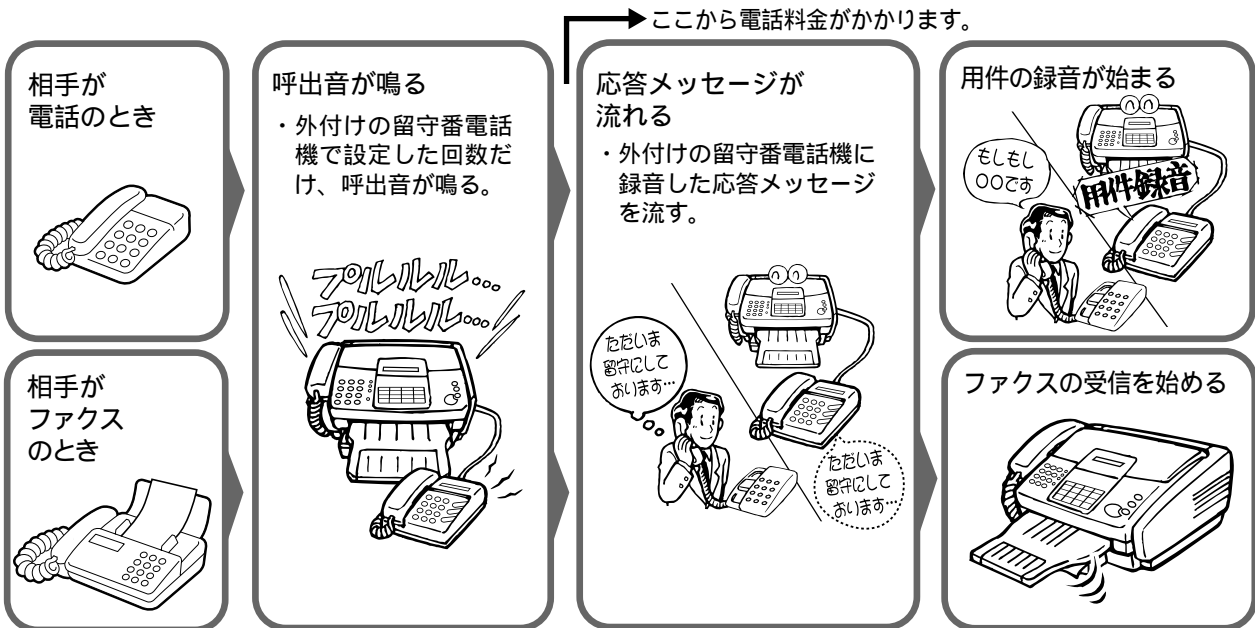
呼出音が鳴る

・外付けの留守番電話機で設定した回数だけ、呼出音が鳴る。

応答メッセージが流れる

・外付けの留守番電話機に録音した応答メッセージを流す。

用件の録音が始まる

ファクスの受信を始める

お知らせ

- 留守録接続をお使いになるときは、外付けの留守番電話機の留守セットと「応答メッセージ時間の設定」が必要です。留守録接続をセットしたときの注意事項など、詳しくは66ページを参照してください。
- 留守番電話機の呼出回数は、8回より少なくしてください。相手から電話がきても留守番電話機に切り替わりません。

■着信ベル回数の設定(★1の設定)

ファクスが音声応答を出すまでの呼出音の回数を設定します。

お知らせ ● 設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

■F/T音声応答の設定(★2の設定)

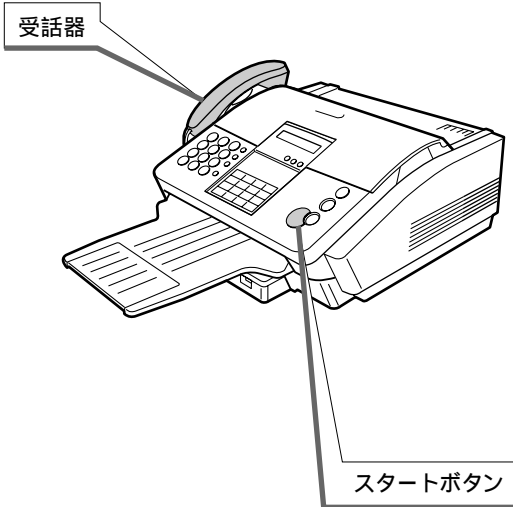
[F/Tキリカエ]にセットしているとき、★2で流れる声を出さないように設定できます。流さないようにすると、★2のところで呼出音が鳴ります。

お知らせ ● 設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

■F/Tベル回数の設定(★3の設定)

[F/Tキリカエ]にセットしているとき、★3で鳴る呼出音の回数を設定できます。

お知らせ ● 設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

ファクスを受ける

自動受信のしかた

本機を[F/Tキリカエ][FAXセンヨウ][ルスロク　セツゾク]にセットしているとき、相手がファクスを送ってくると自動的に受信を始めます。

1 相手がファクスを送ってくると

- [F/Tキリカエ][FAXセンヨウ]のときは、呼出音は鳴らないでつながる。(★)
- [ルスロク　セツゾク]のときは、留守番電話機でセットされている回数だけ呼出音が鳴ってからつながる。

2 自動的に受信が始まる

相手と話してから受信する（手動受信）

1 呼出音が鳴ったら受話器を上げる

2 相手と話をする(★★)

3 受信するとき スタート を押す(★★★)

4 受話器を戻す

お知らせ

★ [F／Tキリカエ][FAXセンヨウ]で、受信を始めるまえに鳴る呼出音の回数を設定できます。(☞P41)
★ 電話回線の状態や相手機によって、呼出音が鳴ったりまたは呼出回数が多い場合があります。
★ [F／Tキリカエ]にセットしているときは、相手が手動送信でファクスを送ってきても自動受信できません。受話器を上げて相手と話をしてください。
★★ 受話器を上げたときに何も聞こえない場合は、スタートボタンを押してください。
★★★ 受信するときに原稿がセットされていると、ファクスの送信が始まります。原稿がセットされているときは取り除いてください。
★★★ こちらから電話をかけたときでもファクスを受信できます。受信するときにスタートボタンを押してください。
★★★ スタートボタンを押すまえに受話器を戻すと電話が切れます。

リモート受信

本機に今までお使いの電話機をつないでお使いになっている場合、外部電話機からの操作でファクスを受信できます。(☞P16「取り付けかた」)

1 電話がかかってきたら外部電話機で取る
2 外部電話機で

プッシュ回線の場合	✱ ✱
回転ダイヤル式の場合	9 9

3 受信開始
4 受話器を戻す

お知らせ

- 手順2で✱ ✱、9 9は5秒以内に操作してください。
- 押しボタン式の電話機で、押した瞬間だけ「ピッ」と鳴る電話機の場合、受信できないことがあります。また電話をかけたときや、リモート受信の設定が "ナシ" になっているときは受信できません。(☞P76)
- 押しボタン式の電話機で✱ ✱を押しても受信できない場合は、9 9を押してみてください。

メモリー代行受信

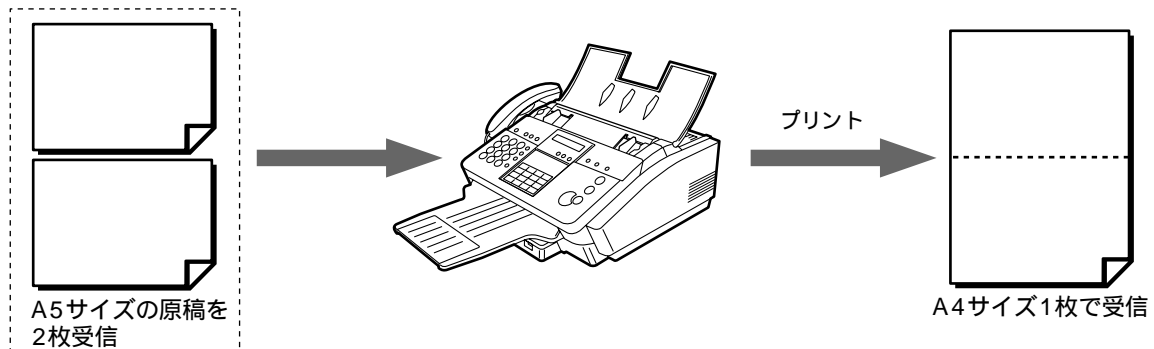
用紙やプリントカートリッジのインクがなくなったなどでプリントできなくなっても、メモリーが代わりに受信します。

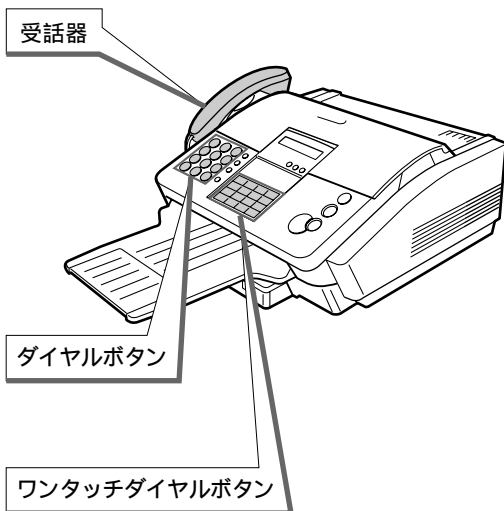
1 用紙が無くなるとメモリーが代りに受信する
2 受信が終わる
3 用紙を補充する(☞P20)
メモリー ジ゛ュシン サレテイマス
スタート ヲ オシテクダ゛サイ
4 スタートを押す
・プリントを始める

お知らせ

- メモリーには制限があります。用紙やプリントカートリッジなどは早めに交換してください。(☞P18、20)
- システム登録の「代行受信」の設定が "ナシ" になっているときは、メモリー代行受信できません。(☞P74)
- メモリーにはA4標準原稿(A4サイズ 700字程度の原稿)で約30枚まで受信できます。
- メモリー使用量が87%を超えると、メモリー代行受信できなくなります。

2in1受信

A5サイズの原稿を2枚受信したとき、A4サイズ1枚にまとめてプリントします。

お知らせ

- システム登録の「2in1受信の設定」が "ナシ" になっている場合は、2in1受信しません。(☞P76)
- 親展蓄積やマルチコピーなど本機で蓄積した原稿をプリントした場合は、2in1しないでプリントします。また、ダイヤルリストなどのレポート類も2in1できません。

ダイヤルボタンで電話する（直接ダイヤル）

ダイヤルボタンを使って宛先の電話番号をダイヤルします。

1 受話器を上げる

・「ツー」が聞こえる。

2 ダイヤルする

```
*ダ イヤル シテイマス*
0334919191■
```

3 話をする

 話が終わったら、受話器を戻す

ワンタッチダイヤルで電話する

あらかじめ、ワンタッチダイヤル（01～16）に電話番号を登録しておいてください。（☛P72）

1 受話器を上げる

・「ツー」が聞こえる。

2 ワンタッチダイヤル（01～16）を押す（★）

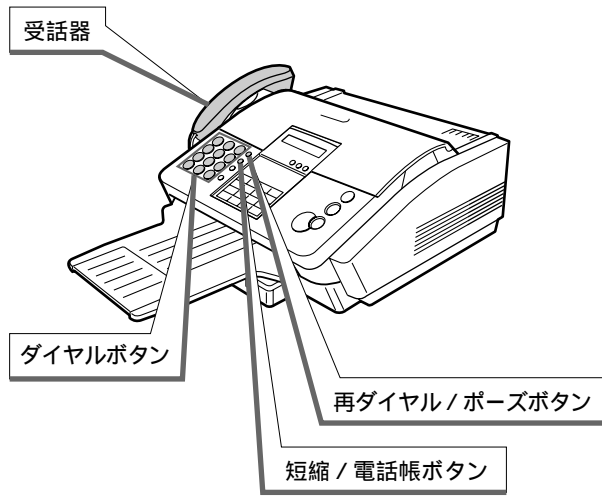
```
＜01＞ マツシタ デ ンソウ
0334919191
```

3 話をする

 話が終わったら、受話器を戻す

お知らせ

● 相手と話しているときにスタートボタンを押すと、ファクスの送受信が始まり話ができなくなります。間違えて押してしまった場合は、ストップボタンを押してください。しばらくすると話ができるようになります。

★ 電話番号を登録していないワンタッチダイヤルを選ぶと「ピピピ」が聞こえます。

短縮ダイヤルで電話する

あらかじめ、短縮ダイヤル（01～34）に電話番号を登録しておいてください。（☞P72）

1 受話器を上げる

・「ツー」が聞こえる。

2 短縮/電話帳 ◯ を押す

3 短縮番号（01～34）を押す（★）

・ ダイヤルボタンで短縮番号を選ぶ。

```
[01]　トウキョウ　ホンシャ
0354347184
```

4 話をする

5 話が終わったら、受話器を戻す

同じ相手にもう一度電話する（再ダイヤル）

最後にかけた相手にもう一度電話します。

1 受話器を上げる

・「ツー」が聞こえる。

2 再ダイヤル／ポーズ ◯ を押す（★★）

・ 最後に電話をした相手にもう一度ダイヤル開始。

お知らせ

● 相手と話しているときにスタートボタンを押すと、ファクスの送受信が始まり話ができなくなります。間違えて押してしまった場合は、ストップボタンを押してください。しばらくすると話ができるようになります。

★ 電話番号を登録していない短縮番号を選ぶと「ピピピ」が聞こえます。

★★最後にかけた電話番号が65ケタ以上の場合、64ケタ分までしかダイヤルしません。

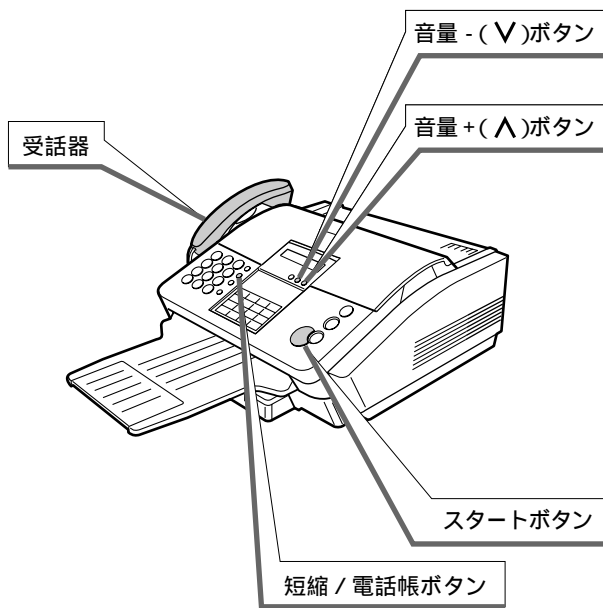
受話器を取らないで電話する

1 モニター ◯ 押す

2 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⊛⓪⊕ ダイヤルする

3 相手の声が聞こえたら受話器を取る

4 話をする

電話

電話帳ダイヤルで電話する

短縮ダイヤルに登録(☞P72)してある宛先を、五十音順に探してダイヤルすることができます。

1 受話器を上げる
- 「ツー」が聞こえる。

2 短縮/電話帳 を押す

タンシュク［■　］
バ゛ンゴ゛ウ　ヲ　イレル　マタハ　∨　∧

3 ∨ または ∧ を押して宛先を選ぶ
- 短縮ダイヤルに登録されている宛先が、五十音順に表示される。

4 スタート を押す
- ダイヤルを始める。

5 話をする

6 話が終わったら、受話器を戻す

お知らせ

- 相手と話しているときにスタートボタンを押すと、ファクスの送受信が始まり話ができなくなります。間違えて押してしまった場合は、ストップボタンを押してください。しばらくすると話ができるようになります。
- 短縮ダイヤルに宛先が登録されていないときは、手順3で「ピピピ」が聞こえます。

コピーする

同じ原稿を最大99部までコピーできます。また、拡大・縮小コピーもできます。

1 図のようにして原稿をセットする

・ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☞P31）

2 を押す

3 コピー部数（01～99）を入れる

例：「10部」

```
コヒ゜ー　ズ゛ーム（∨∧）＝A４→A４
コヒ゜ー　ブ゛スウ＝１０
```

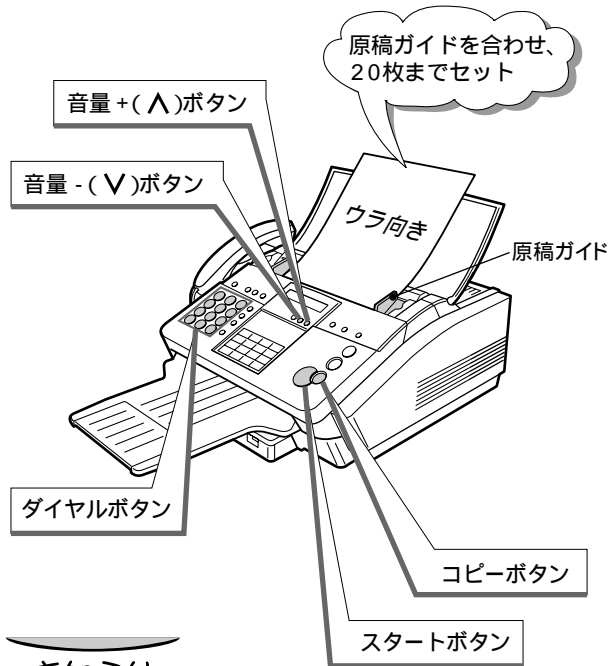
4 ∨ － 音量 ＋ ∧ を押して倍率を選ぶ

・ 倍率は“B４→A４（81％）”、“A４→A４（100％）”、“A5→A4（141％）”から選ぶ。

例：B4をA4サイズに縮小

```
コヒ゜ー　ズ゛ーム（∨∧）＝B４→A４
コヒ゜ー　ブ゛スウ＝１０
```

5 を押す

・ 原稿読取後、コピー開始。

お知らせ

- コピーを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- セットした原稿が定形サイズではない場合、コピーされない部分があります。また、定形サイズの原稿をコピーしたときも、後端15mmはプリントされない場合があります。
- 拡大・縮小コピーでは画質が多少悪くなります。
- 「固定倍率コピー」の設定を“ナシ”にすれば、コピーの倍率を70％～141％まで任意に指定することができます。（☞P76）

こんなこともできます

- 等倍コピーを1部する →手順*125*の順番で操作する（B4サイズの原稿は等倍コピーできない）
- 等倍コピーを複数部する →手順*1235*の順番で操作する
- 拡大・縮小コピーを1部する →手順*1245*の順番で操作する
- 拡大・縮小コピーを複数部する→手順*12345*の順番で操作する

お知らせ

- コピー部数が「1部」のときは、原稿をメモリーに読み込まないでコピーします。
- 2部以上コピーしている途中で用紙が無くなった場合、コピーが中断され、メモリーに読み込んだ内容は消去されます。

コピーについてのお知らせ

次のようなコピーを所有するだけでも、法律により罰せられますので気を付けてください。

- 紙幣・貨幣・政府発行の有価証券・国債証券
- 外国で流通する紙幣・貨幣・証券類
- 未使用郵便切手・官製ハガキ・政府発行の印紙・酒税法で規定の証券類
- 著作権の目的となっている書籍・音楽・絵画・版画・地図・図面・映画・写真などの著作物は、個人的または家庭内その他、これに準じる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁止されています。

ポーリング受信

ポーリング送信側にセットしている原稿をポーリング受信側の操作で取り出すことができます。
このとき、通信費はポーリング受信側の負担となります。

- ポーリング受信の指定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- ポーリングパスワードをお使いになる場合、ポーリング受信の相手は、ポーリング送信機能を持つ当社機に限ります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

送信予約

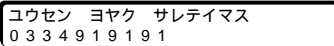
メモリー送信や受信をしているときでも、次の送信を予約できます。

1. 送信中または受信中に
2. メモリーランプを点灯させる
   ・点灯していないときは押して点灯させる。
3. 原稿をセットする

4. 宛先を指定する
   ・最大62宛先まで指定できる。
   （☞P36「複数宛先の指定のしかた」）

5. スタートを押す
   ・原稿読取開始

6. 送信が予約される

● 送信予約の指定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
● 送信予約を取り消したいときは、「通信予約の消去」をしてください。（☞P61）

通信予約について

本機を使って通信を指定するとき、通信予約できるファイル数には制限があります。
制限を超えてしまうと、タイマー送信などの予約や、メモリーを使っての送信ができなくなります。

タイマー通信での予約数	2通信まで指定
全体の予約数	10通信まで指定

優先予約

至急に送りたい原稿を現在行われている通信の次に割り込んで送ることができます。

1. メモリーランプ消灯状態で
   ・点灯しているときは、押して消灯させる。
2. 原稿をセットして、送信操作をする
   ユウセン　ヨヤク　サレテイマス
   0334919191
3. 現在行っている通信が終わったら、送信開始

お知らせ

● 優先予約を取り消すときは、ストップボタンのあと①(ハイ)を押してください。

タイマー通信

タイマー送信とタイマーポーリング受信を合わせて2タイマーまで指定できます。

タイマー送信

あらかじめ指定した時刻に自動的に原稿を送信することができます。

● タイマー送信の指定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
● すでに2つのタイマー通信が予約されている場合は、タイマー送信をセットできません。現在予約されているタイマー通信を解除(P61)するか、通信が終わってからセットし直してください。
● タイマー通信を2タイマーセットしていなくても、すでにメモリー送信など他の通信が10ファイル予約されている場合はタイマー送信を予約できません。

タイマー送信の原稿をメモリーに蓄積する

タイマー送信する原稿をメモリーに蓄積しておくと、1回の操作で最大62宛先へタイマー送信できます。

お知らせ

● 原稿読取中にメモリーがいっぱいになったときは、31ページ「メモリーがいっぱいになると」の操作をしてください。

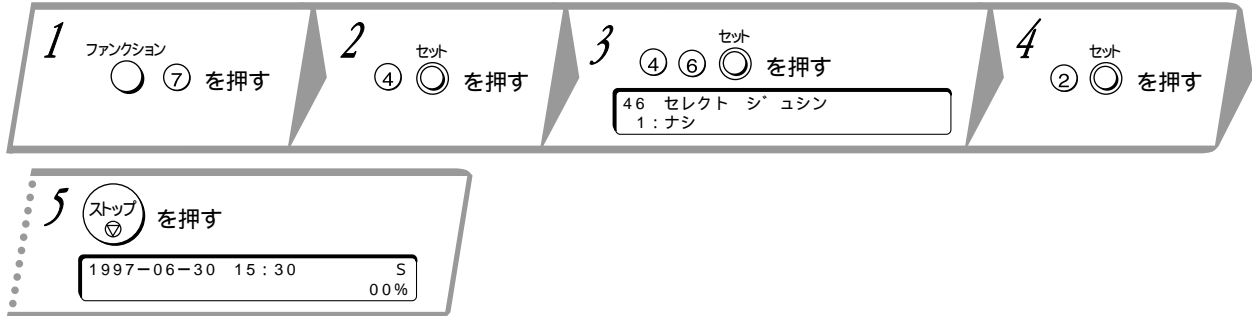
タイマーポーリング受信

あらかじめ指定した時刻に自動的にポーリング受信を始めます。

- タイマーポーリング受信の指定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- すでに2つのタイマー通信が予約されているときは、タイマーポーリング受信をセットできません。現在予約されているタイマー通信を解除（P61）するか、通信が終わってからセットし直してください。
- タイマー通信を2タイマーセットしていなくても、すでにメモリー送信など他の通信が10ファイル予約されている場合はタイマーポーリング受信を予約できません。

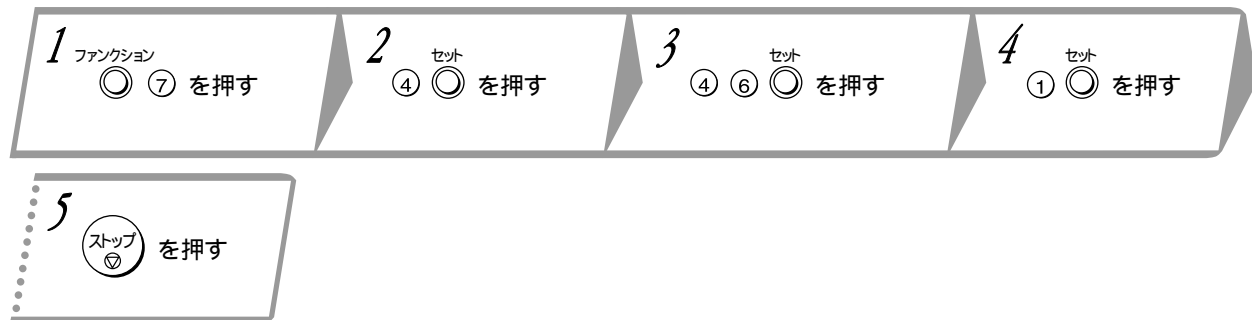
セレクト受信

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている電話番号の下4ケタと、相手から送られてきたID番号の下4ケタを照合し、一致したときだけ受信します。

- あらかじめ数字IDを登録しておいてください。（☞P26）
- 相手には、ID番号に電話番号を登録してくれるようお伝えください。

セレクト受信の設定

お知らせ

- セレクト受信の設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 本機のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに電話番号を登録していないときは受信できなくなります。
- 相手がID番号を送ってこない場合（ID番号を登録していない、登録できないなど）は受信できなくなります。
- 手動受信をしたときは、相手をセレクトしないで受信します。

セレクト受信の解除

お知らせ

- セレクト受信の解除を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

メモリー受信

ファクスを受信したとき、すぐに用紙にプリントしないでメモリーに保存しておくことができます。

メモリー受信の設定

- メモリー受信の設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- メモリーにはA4標準原稿(A4サイズ 700字程度の原稿)を約30枚まで保存できます。
- メモリー容量が87%以上になると、呼出音が鳴るだけで受信できなくなります。メモリー受信した原稿をプリントしてください。

メモリー受信の解除

- メモリー受信の解除を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- メモリーに原稿が保存されているときにメモリー受信の解除をしたときは、まずメモリーの内容をプリントしてから設定を解除します。
- プリントが始まってからストップボタンを押してもプリントは中断されません。

メモリー受信のプリント

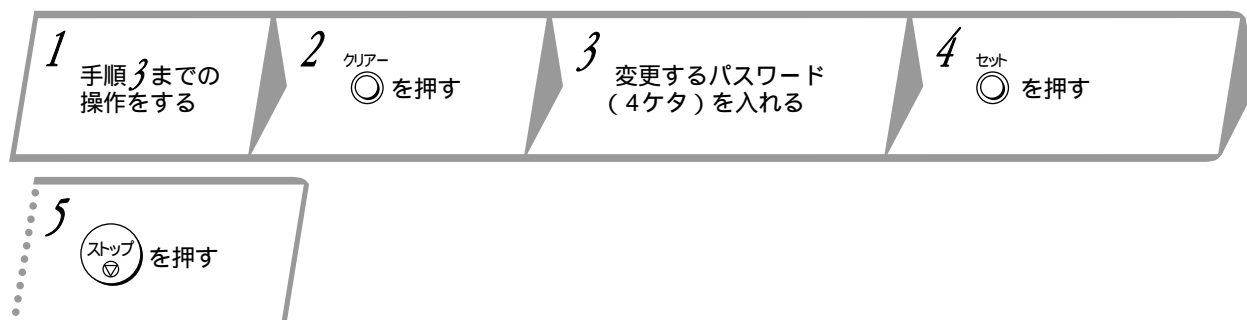
- メモリー受信のプリントを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- プリントが始まってからストップボタンを押してもプリントは中断されません。

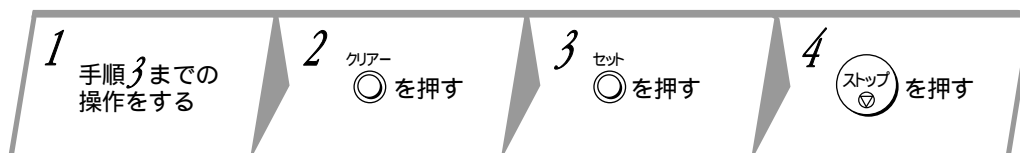
パスワードを登録して使う

あらかじめパスワードを登録して、パスワードを使わないと受信した原稿をプリントできないようにすることができます。

- メモリー受信の設定を「オフ」にしておいてください。「オン」になっているとパスワードの登録・変更ができません。
- 登録したパスワードはメモなどに取って忘れないようにしてください。万一、忘れてしまったときはお買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ ● パスワードの登録を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

パスワードの変更

お知らせ ● パスワードの変更を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

パスワードの消去

お知らせ ● パスワードの消去を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

パスワードを使ってプリントする

お知らせ

- プリントを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- プリントが始まってからストップボタンを押してもプリントは中断されません。

パスワードを使って解除する

お知らせ

- 解除を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- メモリーに原稿が保存されているときにメモリー受信の解除をしたときは、まずメモリーの内容をプリントしてから設定を解除します。
- プリントが始まってからストップボタンを押してもプリントは中断されません。

無鳴動受信タイマー切替

本機の受信方法を[F／Tキリカエ]にセットしているとき、あらかじめ設定した時間帯だけ呼出音を鳴らさないでファクスに切り替えます。それ以外の時間帯は、41ページの「着信ベル回数」で設定した回数だけ呼出音を鳴らしたあと、ファクスに切り替わります。

無鳴動受信タイマー切替の設定

お知らせ

- 設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 時刻を変更したいときは、手順1から設定し直してください。
- あらかじめ「着信ベル回数」の設定をしておいてください(☞P41)。着信ベル回数が「0」になっていると、設定した時間帯以外でも呼出音は鳴らないでファクスに切り替わります。
- ダイヤルインサービスをご利用になると、無鳴動受信タイマー切替は無効になります。

無鳴動受信タイマー切替の解除

お知らせ

- 解除を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

親展通信

本機の親展メールボックス機能を使って、人に見られたくない文書などを親展で送受信することができます。

● 親展通信の相手は、親展メールボックス機能を持つ当社機に限ります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

親展送信

相手のメールボックスに親展文書を蓄積します。

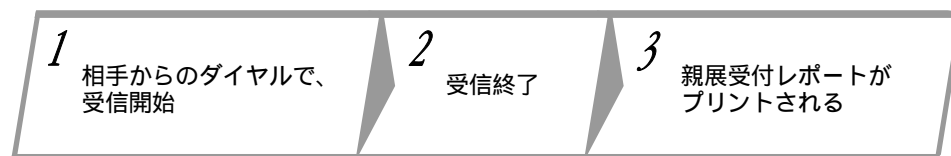
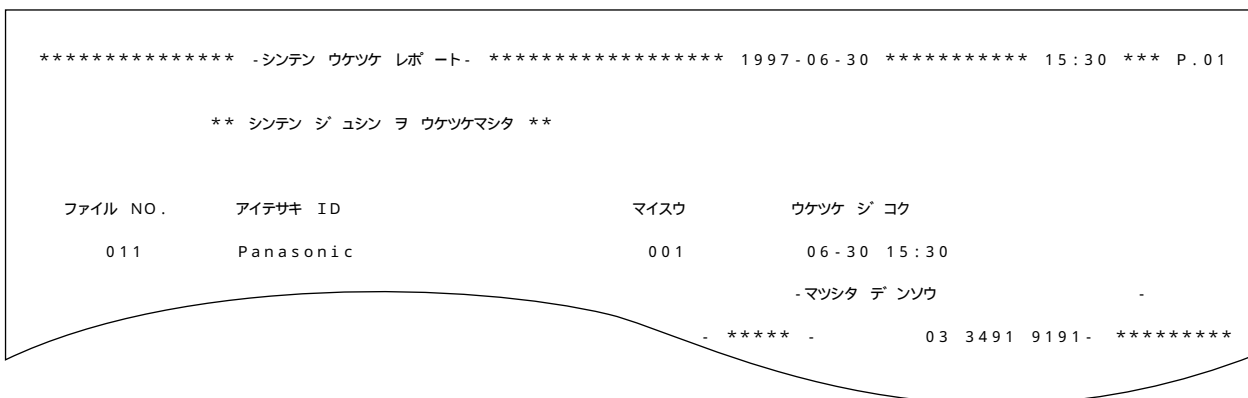
● 親展送信を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
● 親展送信で指定できる宛先は1宛先のみです。

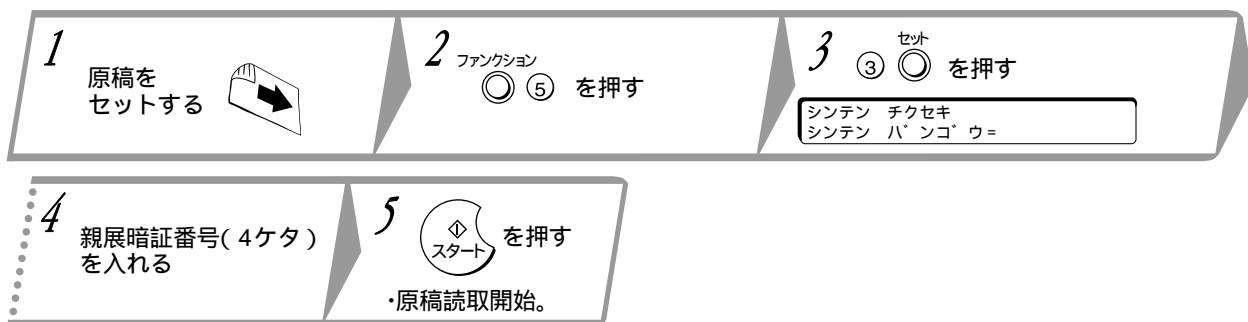
親展ポーリング受信

相手のメールボックスに蓄積されている親展文書を、受信側の操作で取り出すことができます。

● 親展ポーリング受信を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
● 親展ポーリング受信では、通信料金は受信側の負担になります。

親展受信

親展送信された文書を本機のメールボックスに蓄積します。(メールボックスは、7個まで)

親展レポートのプリント例

親展蓄積

本機のメールボックスに親展文書を蓄積します。(メールボックスは7個まで)
親展メールボックス機能を持つファクスからの親展ポーリング受信の操作でメールボックスに蓄積した文書を送信します。

お知らせ

- 親展蓄積を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 親展蓄積したときは、相手に親展文書があることを連絡してください。
- 原稿読取中にメモリーがいっぱいになったときは、31ページ「メモリーがいっぱいになると」の操作をしてください。
- 手順4で「ピピピ」と鳴ったときは、メモリーがいっぱいで親展文書を蓄積できません。
- 蓄積した親展文書を親展ポーリング受信などの操作で取り出すとメモリーの内容は消去されます。メモリーの内容を消去したくないときは、システム登録の「親展ファイル保存」をアリにしてください。(☞P76)
- 親展蓄積した内容を消去したいときは、59ページ「親展消去」をしてください。

親展プリント

親展暗証番号を指定して、親展受信した文書や親展蓄積した文書をプリントします。

お知らせ

- 親展プリントを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 親展プリントをすると、指定した暗証番号に保存されている親展文書がすべてプリントされます。
- 指定した暗証番号に親展文書が保存されていない場合は、手順4で「ピピピ」が聞こえます。
- プリントしたあとも親展文書を消去したくない場合は、システム登録の「親展ファイル保存」の設定を "アリ" にしてください。
- プリントが始まってからストップボタンを押してもプリントは止まりません。

親展消去

メモリーに保存されている親展文書を消去します。

お知らせ

- 親展消去を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 親展消去をすると、指定した親展暗証番号に保存されている親展文書はすべて消去されます。
- 指定した親展暗証番号に親展文書が保存されていない場合は、手順4で「ピピピ」が聞こえます。
- メモリーに保存されているすべての親展文書を消去したいときは、手順2のあとにセットボタン、①(ハイ)を押してください。消去を中止するときは②(イイエ)を選びます。

通信予約の確認とプリント

通信予約レポートのプリント

タイマー通信などで予約した通信の内容（送信先や予約時刻など）をリストにしてプリントします。

プリント例

お知らせ

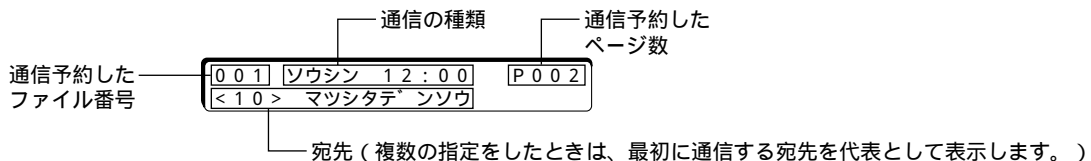
- 通信管理レポートのプリントの指定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 通信予約した内容がないときは、プリントできません。
- ファイルNo.の左の“＊”は、現在通信中であることを表します。

通信予約をディスプレイで確認する

タイマー通信などで予約した通信の内容（送信先や予約時刻など）をディスプレイ表示で確認します。

お知らせ

- 通信予約の確認を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 通信予約した内容がないときは、ディスプレイに表示できません。

●ディスプレイの見方

●通信の種類について

通信の種類	説明
ソウシン	送信
PRX	ポーリング受信
メモリージュシン	メモリー代行受信、メモリー受信

通信予約内容のプリント

タイマー送信などで送信予約した原稿をプリントできます。

- 予約内容のプリントを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- タイマーポーリング受信などメモリーに原稿が保存されていないファイル番号を指定してもプリントはできません。
- 通信が予約されていないファイル番号を選ぶと、手順4で「ピピピ」が聞こえます。

通信予約の消去

- 通信予約の消去を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- メモリー受信のファイルは指定できません。
- 通信が予約されていないファイルを選ぶと、手順4で「ピピピ」が聞こえます。通信予約レポートをプリント（☞P60）して、ファイル番号を確認してください。

通信予約された内容を変更する

通信予約の変更

タイマー送信やタイマーポーリング受信の宛先や予約時刻を変更できます。

お知らせ

- 通信予約の変更を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 再ダイヤル待ちの通信のファイル番号は指定できません。
- 通信が予約されていないファイルを選ぶと、手順3で「ピピピ」が聞こえます。通信予約レポートをプリント（☞P60）して、ファイル番号を確認してください。
- 変更・追加する宛先は、すでに指定されている宛先と合わせて最大62宛先まで指定できます。

こんなこともできます

- 通信開始時刻だけ変更する →手順1 2 3 4 5 6 10の順番で操作する。
- 宛先の追加だけする →手順1 2 3 4 6 9 10の順番で操作する。
- 宛先の変更だけする →手順1 2 3 4 6 7 8 9 10の順番で操作する。
- 通信開始時刻を変更し宛先を追加するには →手順1 2 3 4 5 6 9 10の順番で操作する。

通信管理の確認とプリント

通信管理レポートのプリント

送信および受信の結果をレポートにしてプリントします。
ここではシステム登録の「通信管理レポート」がシュドウになっているときのプリントのしかたを説明します。

お知らせ

- 通信管理レポートのプリントを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 通信管理レポート1ページで32通信分の結果をプリントします。
- システム登録の「通信管理レポート」がジドウになっているときは、32通信毎に自動的にレポートをプリントします。

プリント例

*************** ーツウシン カンリ レポ ートー ****************** 1997-06-30 *********** 15:30 ********

NO.	ケッカ	マイスウ	ファイル	ツウシンジ カン	モード	アイテサキ(ID/TEL NO.)	ヒヅ ケ ジ コク	ツウシンコード
29	U40	000		00:00'00	ソウシン	☎ 0001	06-29 14:25	0A00400000000
30	U40	000		00:00'00	ソウシン	アアアアアア	06-29 14:26	0A00400000000
31	ビジー	000		00:00'00	ソウシン	☎ 0001	06-29 14:28	0800400000000
32	ビジー	000		00:00'00	ソウシン	☎ 0001	06-29 14:29	0800400000000
01	ビジー	000		00:00'00	ソウシン	☎ 0001	06-29 14:31	0800400000000
02	ビジ						06-29 14:32	0800400000000
							06-29 15:52	0800400000000
							06-29 15:53	080040000

通信管理をディスプレイで確認する

送信および受信の結果をディスプレイに表示して確認できます。

便利な電話のかけかた

再ダイヤル／ポーズボタンを使ってより確実に電話する

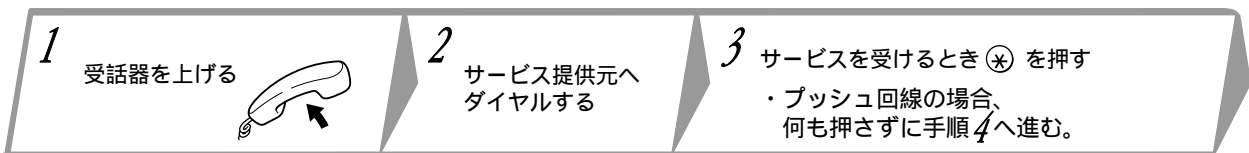
会社などで構内交換機につないでいる場合や海外へ電話をかけるとき、電話番号の前に再ダイヤル／ポーズボタンを押して約3秒の空白時間を入れると、相手につながりやすくなります。

■構内交換機をお使いの場合

お知らせ

● ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録するときは、外線発信番号や国際電話識別番号などのあとに再ダイヤル／ポーズボタンを入れて登録してください。（☞P72）

プッシュホンサービスをお使いになるとき

回転ダイヤル式回線をお使いの方でも、プッシュホン信号（ピッポッパッ）を使って、各種サービスを受けることができます。

● サービスに関するご質問は、各サービス提供元へお問い合わせください。
● 受話器を戻すと、プッシュホン信号送出機能は解除されます。

音量の調節

呼出音の大きさを変える

電話がかかってきたときに鳴る呼出音の大きさを「大・中・切」に変更できます。

● 呼出音量を「切」にすると、ディスプレイに[ヨビダシ　オンリョウ　キリ]が表示されます。
● 原稿がセットされているときは、呼出音量の調節はできません。

モニター音の大きさを変える

モニターボタンを押したときにスピーカーから聞こえる音の大きさを8段階まで変更できます。

● モニター音を聞こえないようにしたいときは、「■」をすべて消してください。

外付けの留守番電話機を使う

お手持ちの留守番電話機を接続して、用件もファクスも両方受け取ることができます。
お使いになる前に必要な登録・設定をしてください。

留守番電話機の設定

ファクスの受信方法の設定

お知らせ
- 設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

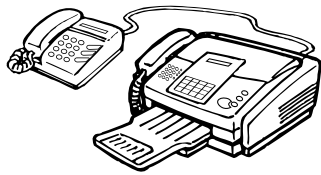
応答メッセージ時間の設定

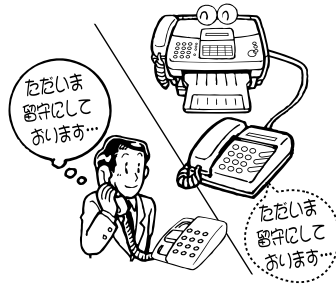
録音した応答メッセージの時間を、ファクスに登録します。この時間が合っていないと、相手に応答メッセージを流している途中でファクスの受信に切り替わることがあります。

お知らせ
- 設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

電話がかかってくると

呼出音が鳴る

・外付けの留守番電話機で設定した回数だけ、呼出音が鳴る。

応答メッセージが流れる

・外付けの留守番電話機に録音した応答メッセージを流す。

相手が用件の場合、録音開始

相手がファクスを送ってきたら受信開始

こんなときは

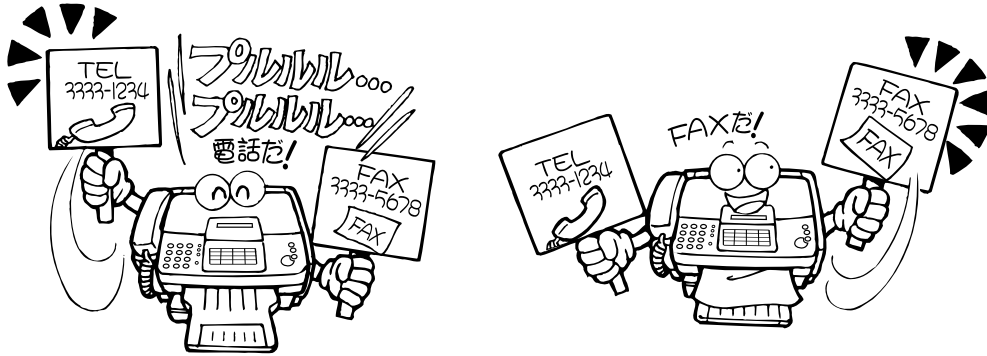
ファクス送信音「ポー・ポー」が用件1件分として録音される。	相手が自動送信のファクスの場合、用件にファクス送信音だけが録音されることがあります。
用件に何も録音されていない。	相手が何も話さない場合、または手動送信のファクスの場合は、用件に何も録音されないことがあります。
ファクスの受信ができない。	録音テープの残りが少なくなっていませんか？ テープ残量が少ないと、留守番電話機が動き出してからの時間が短いため、受信に切り替わらないことがあります。
	留守番電話機を「応答専用」にセットしていませんか？ 相手に応答メッセージを返してすぐに電話が切れるため、ファクスの受信はできなくなります。
用件を録音している途中で、ファクスの受信に切り替わってしまう。	用件録音中に約7秒の無音があると、自動的にファクスの受信に切り替わります。

- 留守番電話機の自動発信機能（転送機能・ポケットベル呼出機能・予約発信機能など）は使えなくなります。
- 用件録音の途中でファクスの受信に切り替えたくないときは、システム登録の「無音検知」の設定をナシにしてください。（☞P74）

ダイヤルインサービスのご利用

ダイヤルインサービスをご利用になれば、1本の電話回線に2つの内線番号を登録して、それぞれの番号を指定して電話をかけることができます。

ダイヤルインサービスのご利用

相手が電話用の番号を使って呼び出したときは呼出音が鳴ります。受話器を取ってお話しください。ファクス用の番号を使ったときは呼出音を鳴らさないで自動的に受信を始めます。

ダイヤルインサービスをお使いになるとき

NTTとダイヤルインサービスの契約をする (お近くのNTT窓口にお申し込みください)

お知らせ

● ダイヤルインの設定は、必ず切替工事に合わせて行ってください。工事および設定の両方がされていないと、電話が使えなくなります。

ダイヤルインサービスで停電になったとき

停電になると受話器を取るだけでは電話に出られなくなります。次のようにして電話に出てください。

ダイヤルインの設定

お知らせ

- ダイヤルインの設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
- 手順5、7で番号を登録するときは、ダイヤルインサービス契約時にNTTから連絡があった番号の下4ケタを登録してください。間違えて登録すると、電話が受けられなくなります。
- 電話用の番号で呼び出されたとき、本機の呼出音は最大3分間鳴り続けます。本機の呼出音が止まっても相手様が待っている場合がありますので、受話器を取って電話が切れていることを確認してください。電話がつながった場合はそのままお話しください。
- 停電などで長時間電源が切れていた場合、登録内容が消去され電話が受けられなくなります。もう一度ダイヤルインの設定をやり直してください。

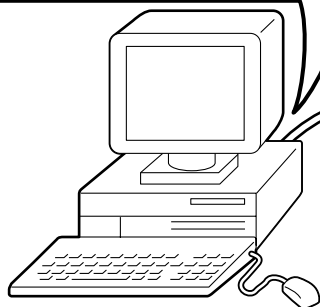
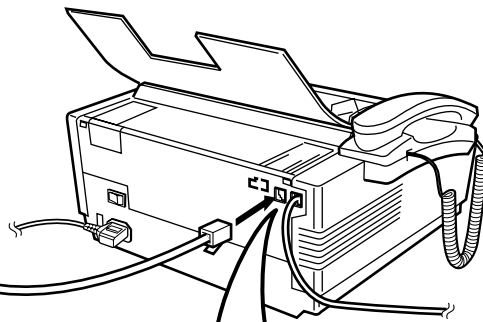
ダイヤルインサービスご契約についての注意事項

ダイヤルインサービスをご契約になるとき、次のことにお気をつけください。

- ダイヤルインサービスをお使いの場合、他の電話機と並列に接続しないでください。
- ダイヤルインの契約をすると、現在の電話番号のほかに、局番は同じで下4ケタが異なる番号を新しく付与されます。また、現在お使いの電話番号が変わることがあります。
- ダイヤルインサービスの利用契約をするとき、送出番号は4ケタにしてください。また、NTTより送出番号の問い合わせがあった場合は「4ケタ」とお答えください。
- 地域によりダイヤルインサービスを受けられない場合があります。最寄りのNTT窓口にご相談の上、ダイヤルインサービスをお申し込みください。
- ダイヤルインを設定しているとき、相手様には呼出音が少し遅れて聞こえます。
- ダイヤルインサービスをご利用になる場合、次のサービスとの同時契約はできません。
（キャッチホン、トリオホン、転送でんわ、でんわ会議、トーキ案内、ピンク電話など）
- Fネットとの同時契約はできますが、一部利用形態に制限があります。詳しくは最寄りのNTT窓口にお問い合わせください。
- ISDN回線をご利用の場合、本機のダイヤルイン機能はお使いになれません。詳しくは最寄りのNTT窓口にお問い合わせください。
- 本機に接続した外部電話機の機種によっては電話がかかってきても外部電話機の呼出音が鳴らない場合があります。（本機の呼出音はなります。）
ベルが鳴らなかった場合でも電話は受けられますので、受話器を取ってお話しください。

プリンター／スキャナーとして使う

ファクスモデムを搭載(または接続)したパソコンを本機につないで、パソコン側でファクスの送信・受信操作をすることにより本機をパソコンのプリンターやスキャナーとしてお使いになることができます。

パソコンに接続する

お知らせ

- プリンター／スキャナーとしてご利用のときも、必ず電話回線を接続しておいてください。
- 外部電話機用モジュラージャックに電話機を接続している場合は、電話機を取り除いてからパソコンを接続してください。
- パソコンなどに必要なシステム条件は、G3規格対応のファクス通信ができることです。詳しくはパソコンなどに添付の取扱説明書をご覧ください。

プリンター／スキャナー機能を設定する

お知らせ

- 設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

パソコンから外線にダイヤルする

パソコンからファクスを送信したりパソコン通信をするときやパソコンに接続している電話機からダイヤルするときは、次のようにしてください。

プリンターとして使う

パソコンからプリントを指定して、本機をプリンターとしてお使いになることができます。
プリントの指定のしかたは、お使いの電話回線の種類によって異なります。

1 プリントするとき

2 パソコンからプリントを指定する
・お使いの電話回線がプッシュ式回線の場合 →⑦⊛をダイヤルする
・お使いの電話回線が回転ダイヤル式回線の場合→⑦ をダイヤルする

3 プリント開始

お知らせ

● 本機からの操作でプリントを中止するときは、ストップボタンを押したあとに①（ハイ）を押してください。
● プリント中に用紙が無くなった場合は、用紙を補充して最初から指定し直してください。
● プリント中に電話がかかってきたときは、受話器を上げてお話しください。相手がファクスの場合は、プリントを中止してからファクスの受信をしてください。
● 本機をプリンターとしてお使いのときは、システム登録の「固定縮小率」で設定されている値でプリントします。（☞P74）
● パソコンなどの取り扱いについて詳しくは、パソコンなどに添付の取扱説明書を参照してください。

スキャナーとして使う

本機で読み取った原稿をパソコンに送ることができます。

4 パソコン側でファクスの受信操作をする

5 原稿を読み取り、パソコンへ送る

＊ スキャン シテイマス ＊

お知らせ

● パソコンへの送信を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。
● 本機からパソコンなどへ送った原稿には、発信元などの情報はプリントされません。
● スキャナー中に電話がかかってきたときは、受話器を上げてお話しください。相手がファクスの場合は、スキャナーを中止してからファクスの受信をしてください。
● パソコンなどの取り扱いについて詳しくは、パソコンなどに添付の取扱説明書を参照してください。

電話番号の登録

ワンタッチダイヤルの登録

お知らせ ● ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

短縮ダイヤルの登録

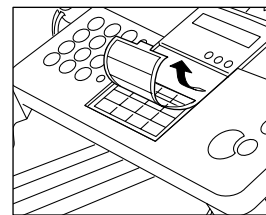
お知らせ ● 短縮ダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

電話番号を登録するときのお知らせ

- ほかのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている電話番号は登録できません。
- 電話番号を間違えたときは、＜＞を押して入れ直してください。
- 電話番号にはダイヤルボタン（0〜9、＊、＃）、ポーズ（再ダイヤル/ポーズボタン）、トーン（⊛）、スペース（モニターボタンまたは短縮ボタン）を登録できます。回転ダイヤル式回線をお使いのかたで、トーンに切り替えたいときは、⊛を押してください。
- 次のような場合電話がつながりにくいことがあります。そのときは相手の電話番号を入れる前に再ダイヤル／ポーズボタンを押してください。空白時間が入り電話がつながりやすくなります。
  - ・ 構内交換機から外線にダイヤルするとき
  - ・ 海外にダイヤルするとき
  - ・ NCC回線（日本テレコムなどの新電電各社）にダイヤルするとき
    （それでもつながらないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。）

宛先シートの使いかた

本機を使って宛先シートがプリントできます。プリントした宛先シートには、ワンタッチダイヤルに登録した宛先名が自動的にプリントされています。

- 宛先シートの宛名をご自分で書きたい場合は、ワンタッチダイヤルの登録で宛先名を登録しないでください。（☛ P72）
- 宛先シートのプリントのしかた

お知らせ
- プリントした宛先シートは点線に沿って切り取ってお使いください。
- 図のように宛先シートカバーを持ち上げて、切り取った宛先シートをセットしてください。

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルの変更

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルの登録内容を変更するときは、次のようにしてください。

●電話番号を変えるとき

●宛先名を変えるとき

お知らせ
- 現在、タイマー通信などを予約している場合、登録内容の変更はできません。

システム登録

お客様の使いかたに合わせて設定してください。

お買い上げ時は、下線の位置に設定されています。

設定項目	設定値	説明
濃度切替	1:フツウ、 2:ウスク、 3:コク	普段よくお使いになる原稿の濃さに合わせて選んでください。
文字サイズ	1:フツウ、 2:チイサイ、 3:サイミツ	普段よくお使いになる原稿に合わせて文字の大きさを選んでください。
送信メモリー優先	1:オフ、 2:オン	メモリー送信をよくお使いになる方は"オン"にしてください。(待機状態でメモリーランプ点灯)
ダイヤル切替	1:10PPS、 2:20PPS、 3:プッシュ(PB)	お使いの電話回線に合わせて選びます。
発信元印字	1:ガメンナイ、 2:ガメンガイ、 3:ナシ	発信元情報のプリント位置を設定します。
受信時刻プリント	1:ナシ、 2:アリ	"アリ"にすれば受信した時刻を用紙に印字できます。
ブザー音量	1:オフ、 2:チイサイ、 3:オオキイ	アラーム音やボタンを押したときの音量を調節します。
ダイヤルイン	1:ナシ、 2:アリ	NTTのダイヤルインサービスをお使いになるときに"アリ"にします。
通信結果レポート	1:オフ、 2:スベテ、 3:ミツウシン	通信結果レポートをプリントするときの条件を設定します。
通信管理レポート	1:シュドウ、 2:ジドウ	通信管理レポートのプリント方法を設定します。"シュドウ"にしているときはパネル操作でレポートをプリントします。
在宅受信	1:シュドウ、 2:F/Tキリカエ	在宅受信をするときの受信方法を選びます。
留守受信	1:FAXセンヨウ、 2:ルスロクセツゾク	留守受信をするときの受信方法を選びます。
F/Tベル回数	1:3カイ、 2:6カイ、 3:9カイ、 4:12カイ	[ファクス/電話自動切替]で、ファクスに切り替わったあとの呼出回数を設定します。
応答メッセージ時間	1〜20〜60ビョウ	外付けの留守番電話機に録音した応答メッセージの長さに合わせて設定します。
無音検知	1:ナシ、 2:アリ	"アリ"にすると用件を録音している間に約7秒の空白時間があると受信に切り替わります。
着信ベル回数	0〜9	ファクスに切り替わるまでの呼出音の回数を設定します。
代行受信	1:ナシ、 2:アリ	"アリ"にしておけば、用紙やインクが無くなってもメモリーが代わりに受信します。
縮小受信	1:コテイ、 2:ジドウ	受信した原稿が用紙1枚に入りきらないとき、自動的に縮小します。"コテイ"にすると、「固定縮小率」でセットされている値に縮小して受信します。
固定縮小率	70〜91〜100%	「縮小受信」を"コテイ"にしているときに使われる縮小率です。
ポーリングパスワード	4ケタのパスワード	ポーリング通信用のパスワードを入力します。

	設定方法
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ⓪① ➡ セット ➡ ①～③ を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ⓪② ➡ セット ➡ ①～③ を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ⓪⑤ ➡ セット ➡ ① または ② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ⓪⑥ ➡ セット ➡ ①～③ を押して電話回線を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ⓪⑦ ➡ セット ➡ ①～③ を押して印字位置を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ⓪⑨ ➡ セット ➡ ① または ② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ①⓪ ➡ セット ➡ ①～③ を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	69ページを参照してください。
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ①② ➡ セット ➡ ①～③ を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ①③ ➡ セット ➡ ① または ② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	38ページを参照してください。
	38ページを参照してください。
	41ページを参照してください。
	66ページを参照してください。
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ②⓪ ➡ セット ➡ ① または ② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	41ページを参照してください。
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ②② ➡ セット ➡ ① または ② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ②④ ➡ セット ➡ ① または ② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ②⑤ ➡ セット ➡ ダイヤルボタンで縮小率を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
	ファンクション ⑦④ セット ➡ ②⑥ ➡ セット ➡ **ダイヤルボタン**で4ケタのパスワードを入れる ➡ セット ➡ ストップ

設定項目	設定値	説明
固定倍率コピー	1:ナシ、　2:アリ	“ ナシ ”にすると、拡大コピーをするとき70%～141%の任意の倍率を選べます。
縮小送信	1:ナシ、　2:アリ	“ ナシ ”にすると、B4サイズの原稿を縮小しないで送信します。
メモリー受信	4ケタのパスワード	パスワードを使ってメモリー受信するときに登録してください。
親展ファイル保存	1:ナシ、　2:アリ	“ アリ ”にすれば、相手の親展ポーリング受信の操作で親展原稿を送信したあとや親展プリントをしたあとでも、親展原稿が消去されません。
セレクト受信	1:ナシ、　2:アリ	“ アリ ”にすると、本機に電話番号が登録されている相手のファクスしか受信しません。
リモート受信	1:ナシ、　2:アリ	“ アリ ”にすると、接続した外部電話機からの操作でファクスを受信できます。
2 in 1	1:ナシ、　2:アリ	“ アリ ”にすると、A5サイズの原稿を2枚送信されたとき、A4サイズ1枚にまとめてプリントします。
親切受信	1:ナシ、　2:アリ	“ アリ ”にしておけば、相手が「ポーポー」音などを送ってきたとき自動的に受信が始まります。
音声応答	1:ナシ、　2:アリ	“ ナシ ”にしておけば、[ファクス／電話自動切替]にセットしているとき、相手に音声応答を出しません。
プリンター／スキャナー	1:ナシ、　2:アリ	本機をパソコンなどのプリンター・スキャナーとしてお使いになるときに“ アリ ”にします。
無鳴動受信タイマー切替	1:ナシ、　2:アリ	設定した時間帯だけ、呼出音を鳴らさないで受信するときに“ アリ ”にします。
メモリーサイズ	――	本機のメモリー容量を表示します。

設定方法
ファンクション ⑦④ セット ➡ ③② ➡ セット ➡ ①または② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
ファンクション ⑦④ セット ➡ ③③ ➡ セット ➡ ①または② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
53ページを参照してください。
ファンクション ⑦④ セット ➡ ④② ➡ セット ➡ ①または② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
ファンクション ⑦④ セット ➡ ④⑥ ➡ セット ➡ ①または② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
ファンクション ⑦④ セット ➡ ④⑦ ➡ セット ➡ ①または② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
ファンクション ⑦④ セット ➡ ⑥⑦ ➡ セット ➡ ①または② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
ファンクション ⑦④ セット ➡ ⑦① ➡ セット ➡ ①または② を押して設定値を選ぶ ➡ セット ➡ ストップ
41ページを参照してください。
70ページを参照してください。
56ページを参照してください。
ファンクション ⑦④ セット ➡ ⑨⑨ ➡ セット ➡ メモリー容量を表示 ➡ ストップ

フォーマットプリント

本機を使って、メモ用紙や連絡表などの用紙をプリントすることができます。

1 ファンクション ◯ ⑥ **を押す**

2 ⑧ **を押す**

```
8：フォーマット インサツ ？
セット デ゛ センタク
```

3 セット ◎ **を押す**

4 ①～④**を押して用紙を選ぶ**

①：送信連絡票をプリント
②：A4サイズ（縦）の便箋をプリント
③：A4サイズ（横）の便箋をプリント
④：スケジュール表をプリント

5 セット ◎ **を押す**

・プリント開始

お知らせ

● プリントを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

送信連絡票

Facsimile Message

Date . . No.

To : ______ From : ______

Subject : ______

便箋（A4サイズ縦）

便箋（A4サイズ横）

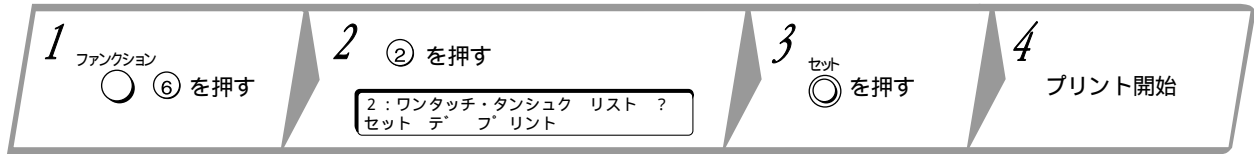
スケジュール表

Year

MONTH

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN

ワンタッチ・短縮リストのプリント

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録した電話番号や宛先名をプリントします。

お知らせ

● ワンタッチ・短縮リストのプリントを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

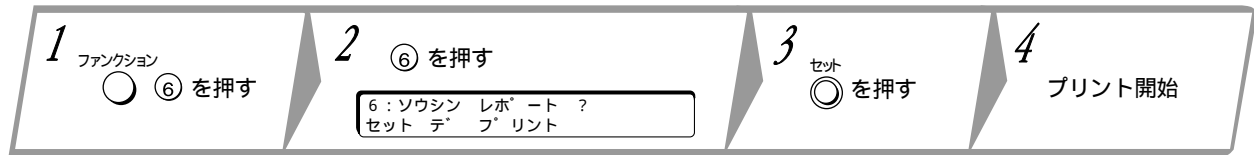
ワンタッチダイヤルリスト

```
************* ーワンタッチ ダ イヤル リストー ******************** 1997-04-16 *********** 16:49 *** P.01

            ワンタッチ      アテサキメイ              デ ンワバ ンゴ ウ

             <01>       トウキョウ シテン          03 3491 9191
             <02>       ナゴ ヤ シテン            052 957 1751
             <03>       オオサカ シテン           06 453 8699
             <04>       ナガ ノ シテン            0268 61 0011

       トウロク スウ = 04
                                                 ーマツシタ デ ンソウ                 ー

******************************** ーマツシタ デ ンソウ      ー ***** ー        03 3491 9191ー) *********)
```

短縮ダイヤルリスト

```
************* ータンシュク ダ イヤル リストー ******************** 1997-04-16 *********** 16:49 *** P.01

            タンシュク     アテサキメイ              デ ンワバ ンゴ ウ

              [01]     ケイリ                   0467 58 2071
              [02]     エイギ ョウ               0258 84 2977

        トウロク スウ = 02
                                                 ーマツシタ デ ンソウ                 ー

******************************** ーマツシタ デ ンソウ      ー ***** ー        03 3491 9191ー) *********)
```

送信レポートのプリント

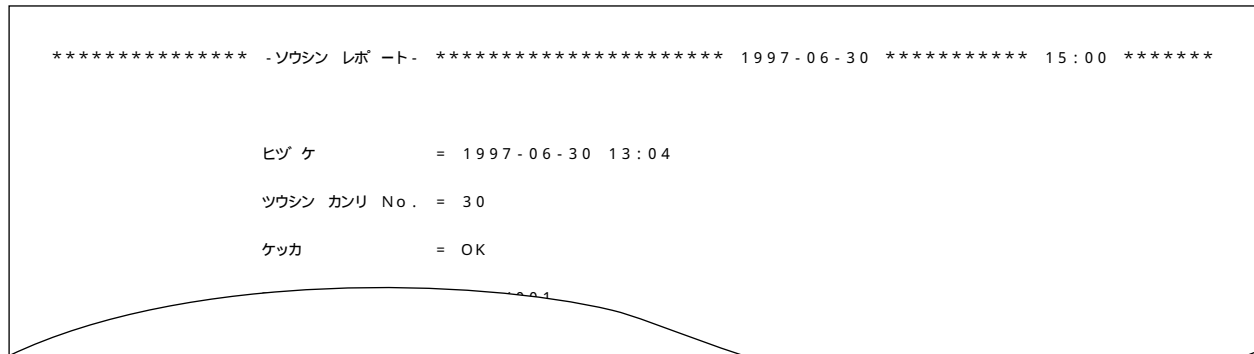
最後に送信した相手の電話番号や送信開始時刻をプリントします。

● 送信レポートのプリントを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

送信レポート

*************** ーソウシン レポ ートー ********************** 1997-06-30 *********** 15:00 *******

ヒヅ ケ = 1997-06-30 13:04

ツウシン カンリ No. = 30

ケッカ = OK

通信結果レポート

通信が終わるたびに結果をレポートにしてプリントできます。

- お買い上げ時は、通信できなかったときだけプリントされます。
- 設定により、毎回プリントしたり、またはプリントしないようにすることができます。（☛P74）

通信結果レポート

<<<<　ミツウシン　ガ　アリマス　>>>>

************** ーツウシン　ケッカ　レポ　ートー ****************** 1997-06-30 *********** 15:00 *** P. 01

モード　＝　ソウシン　　　スタート　＝06-30　15:00　　エンド　＝06-30　15:00

NO.	ケッカ	アテサキ	アイテサキメイ／デンワバンゴウ	マイスウ	ツウシンジカン
001	U50	<02>／0000002	ソウム	000	00:00'00"

ーマツシタ　デンソウ　ー

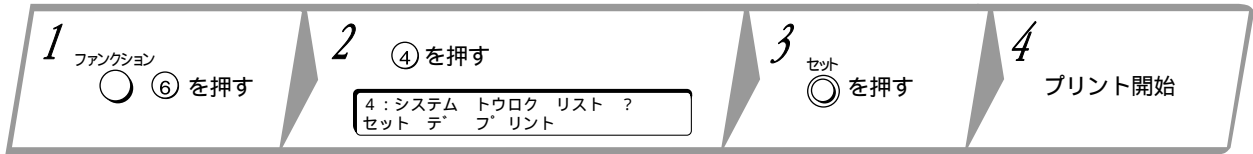
***** ー　03 3491 9191ー） *********

- 次の操作をすると、1回の通信に限って通信結果レポートのプリント方法を変更することができます。

お知らせ

- 設定を途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

システム登録リストのプリント

システム登録で設定した内容をリストにしてプリントします。

お知らせ ●システム登録リストのプリントを途中でやめるときは、ストップボタンを押してください。

システム登録リスト

*************** ーシステム トウロク リストー ******************** 1997ー04ー16 *********** 16：24 ********

					ゲ ンザ イノ セッテイ	ヒョウジ ュン セッテイ
01	ノウド キリカエ	(1：フツウ	2：ウスク	3：コク)	1	1
02	モジ サイズ	(1：フツウ	2：チイサイ	3：サイミツ)	2	1
05	ソウシン メモリーユウセン	(1：オフ	2：オン)		2	1
06	ダ イヤル キリカエ	(1：10PPS	2：20PPS	3：プ ッシュ(PB))	3	3
07	ハッシンモト インジ	(1：ガ メンナイ	2：ガ メンガ イ	3：ナシ)	1	1
09	ジ ュシンジ コク プ リント	(1：ナシ	2：アリ)		1	1
10	ブ ザ ーオンリョウ	(1：オフ	2：チイサイ	3：オオキイ)	2	2
11	ダ イヤルイン	(1：ナシ	2：アリ)		1	1
12	ツウシン ケッカ レポ ート	(1：オフ	2：スベ テ	3：ミツウシン)	3	3
13	ツウシン カンリ レポ ート	(1：シュド ウ	2：ジ ド ウ)		2	2
15	ザ イタク ジ ュシン	(1：シュド ウ	2：F／T キリカエ)		1	1
16	ルス ジ ュシン	(1：FAXセンヨウ	2：ルスロク セツゾ ク)		1	1
18	F／T ベ ル カイスウ	(1：3 2：6	3：9	4：12 カイ)	3	3
19	オウトウ メッセージ ジ カン	(1 ……	60 ビ ョウ)		20	20
20	ムオン ケンチ	(1：ナシ	2：アリ)		2	2
21	チャクシン ベ ル カイスウ	(0 ……	9 カイ)		0	0
22	ダ イコウ ジ ュシン	(1：ナシ	2：アリ)		2	2
24	シュクショウ ジ ュシン	(1：コテイ	2：ジ ド ウ)		2	2
25	コテイ シュクショウ リツ	(70% ……	100%)		91	91
26	ポ ーリング パ スワード				(−−−−)	
32	コテイ バ イリツ コピ ー	(1：ナシ	2：アリ)		2	2
33	シュクショウ ソウシン	(1：ナシ	2：アリ)		1	2
37	メモリー ジ ュシン				(−−−−)	
42	シンテン ファイル ホゾ ン	(1：ナシ	2：アリ)		1	1
46	セレクト ジ ュシン	(1：ナシ	2：アリ)		1	1
47	リモート ジ ュシン	(1：ナシ	2：アリ)		2	2
67	2 in 1	(1：ナシ	2：アリ)		2	2
71	シンセツ ジ ュシン	(1：ナシ	2：アリ)		2	2
72	オンセイ オウトウ	(1：ナシ	2：アリ)		2	2
78	プ リンター／スキャナー	(1：ナシ	2：アリ)		2	1
79	ムメイド ウ タイマー キリカエ	(1：ナシ	2：アリ)		1	1
99	メモリー サイズ				(512KB)	

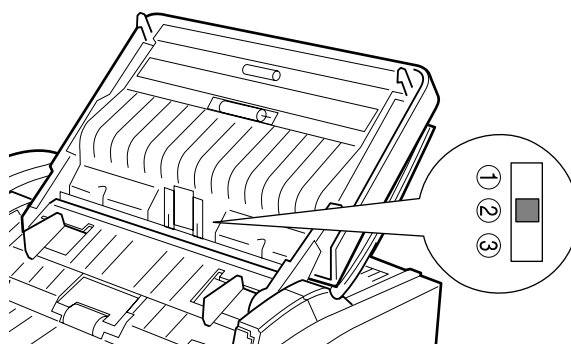
ーマツシタ デ ンソウ −

********************************* ーマツシタ デ ンソウ ー ***** ー 0334919191ー *********

紙づまりのとき

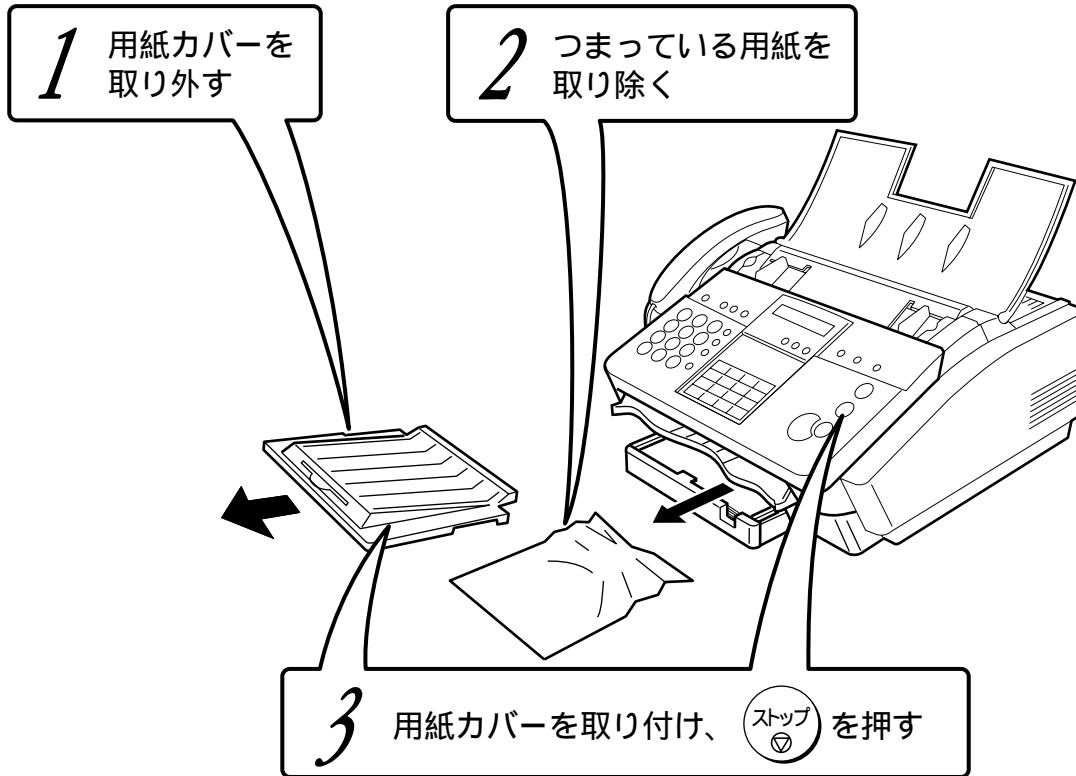
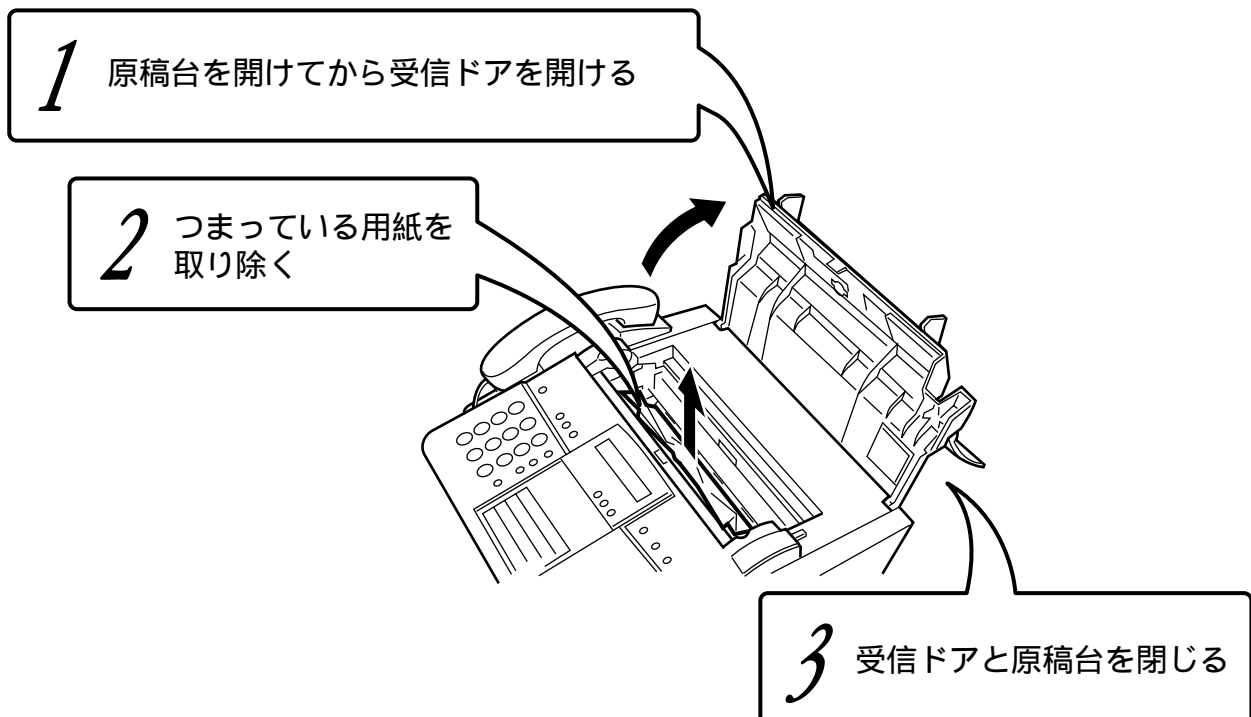
原稿がつまったとき

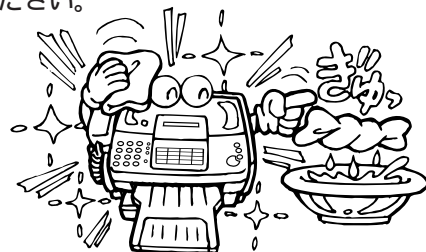
原稿がつまったときや斜めにセットされたときは、次のようにして取り除いてください。

原稿が正常に繰り込まれないときに調整してください。

①	原稿が繰り込まれていかないとき。
②	通常
③	2枚以上の原稿を1度に繰り込んでしまうとき。

用紙がつまったとき

●用紙カセットでつまったとき

●本体内部でつまったとき

本体カバーのお手入れ

柔らかい布に薄めた台所用洗剤を含ませ、よく絞ってからふき取ってください。

お知らせ

- 水ぶきする場合は布を固く絞ってからふいてください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください。
- みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、アルコール、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使わないでください。（変色、変形の恐れ）

読取部のお手入れ

1 原稿台を開けてから送信ドアを開ける

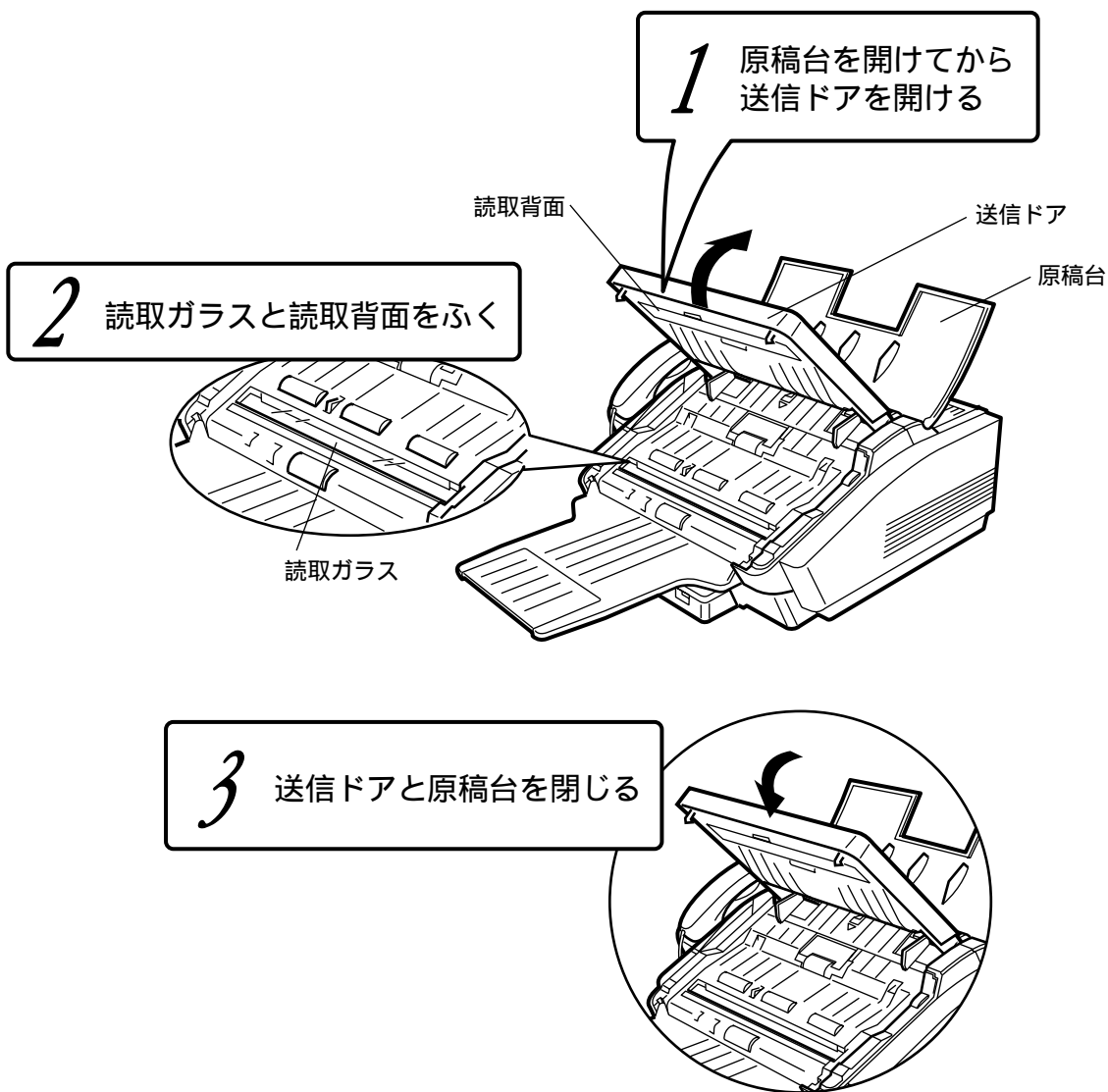
読取背面

送信ドア

原稿台

2 読取ガラスと読取背面をふく

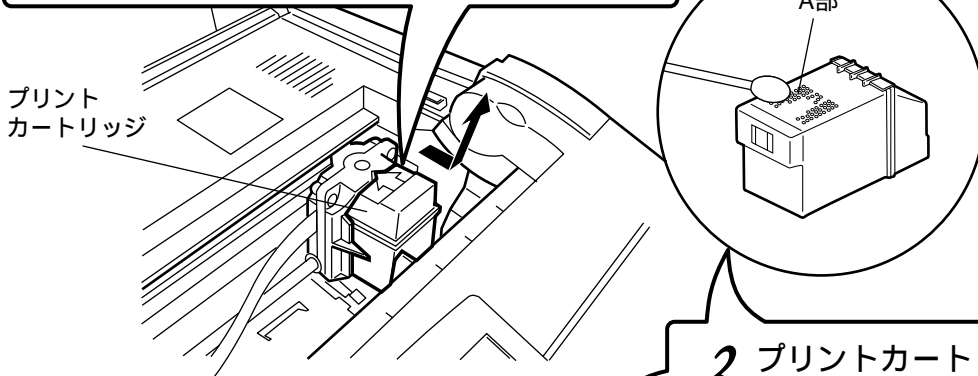
読取ガラス

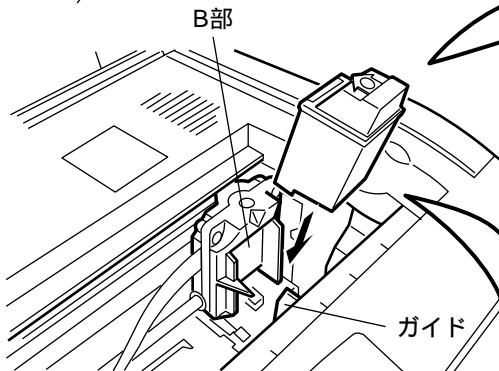
3 送信ドアと原稿台を閉じる

プリントカートリッジの清掃

プリントした原稿に白ヌケやカスレが出てきたら清掃してください。

1 原稿台を開けてから、受信ドアを開ける

2 プリントカートリッジを取り出す

① プリントカートリッジを手前に倒す。
② プリントカートリッジを取り出す。

3 プリントカートリッジを清掃する

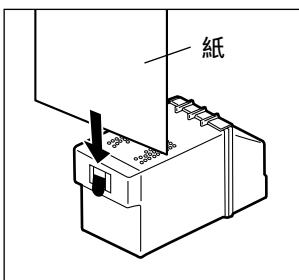
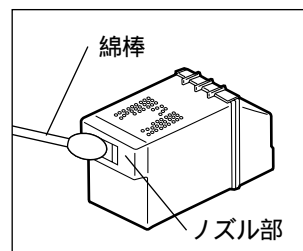
① 綿棒でA部をふく。
② 本体内部のB部をふく。

4 プリントカートリッジをセットする

① 緑色のガイドに沿って差し込む。
② プリントカートリッジをセットする。

5 受信ドアと原稿台を閉じる

インクが固まったとき

プリントカートリッジを長時間放置していてインクが固まってしまったときは、次のようにして固まったインクを取り除いてください。

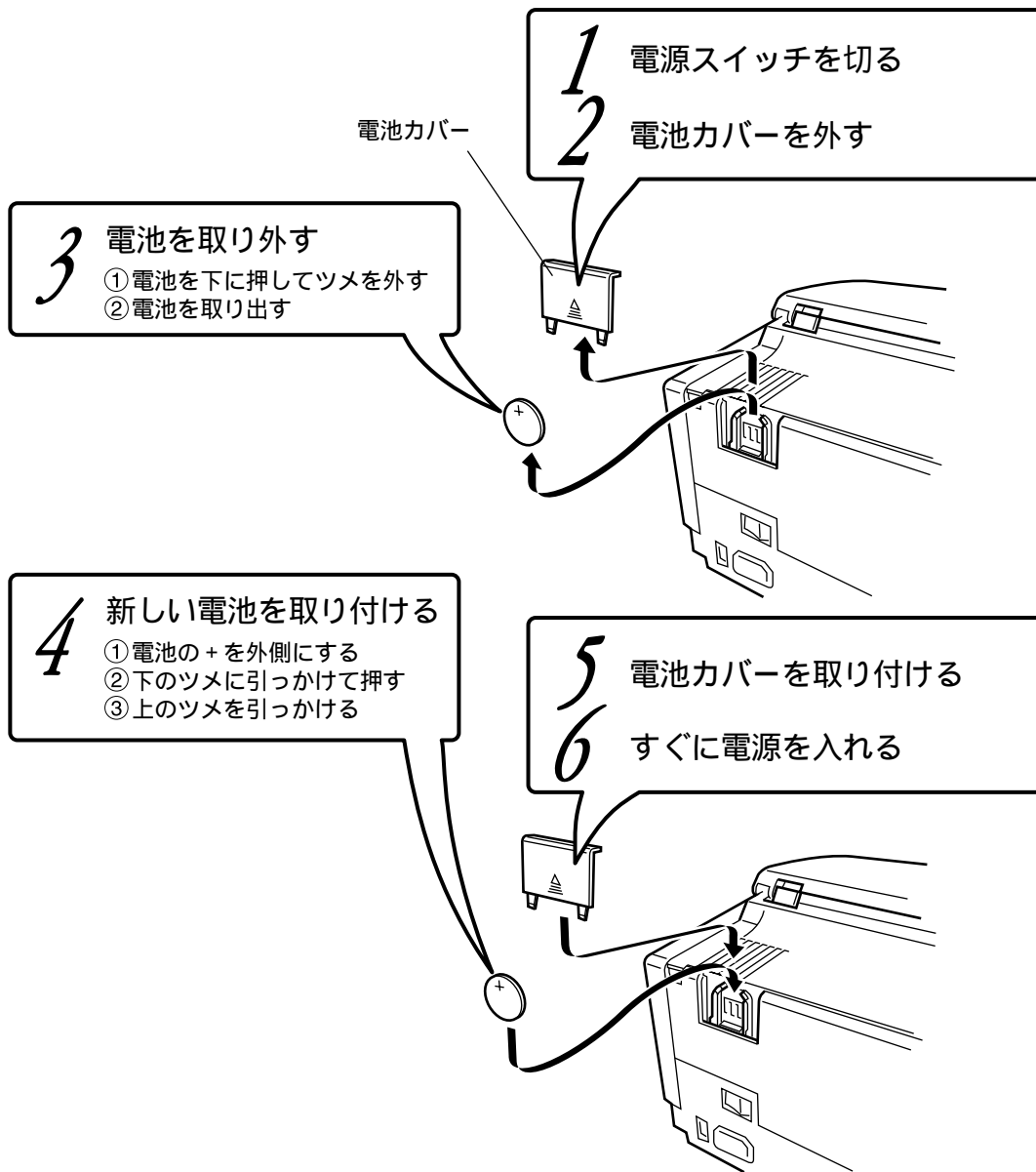
① 名刺などの固い紙を使って取り除く

② きれいな布または綿棒（市販品）を水で濡らす。
③ カートリッジのノズル部を軽くふいて取り除く。

電池の交換

ディスプレイに［デンチヲ　コウカン　シテクダサイ］が表示されたら、電池を交換してください。

電池を交換する前に必ず確認してください

電池が消耗しているときに電源を切ると、タイマー送信などで通信予約したファイル番号や宛先・通信時刻などが消去されます。電池を交換する前に次の操作をして、通信予約の内容を確認しておいてください。

● 通信予約があるときは、宛先や通信予約時刻などを控えておいてください。
● メモリーに保存されている内容があるときは、プリント・消去などの操作をしてください。（☞P61）

電池の交換のしかた

お知らせ

- 電池を交換したらすぐに電源を入れてください。電源を切ったままにしておくとすぐに電池を消耗してしまいます。
- 電池は市販されている電池（CR2032）をご使用ください。

故障かな？と思ったら

修理サービスを依頼される前に次の項目を点検してください。直らないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

	症状	原因	対応	参照
一般	時計表示が点滅している	停電などで本機に登録した時計の内容が消去した。	時計に登録した内容は、電池によって保持されています。電池がセットされていないまたは容量がなくなっている場合、停電などで電源が切れると時計に登録した内容は消去されます。 電池を交換して、時計のセットをし直してください。	22 88
電話	電話がかけられない	回線コードを正しく接続していない。	正しく接続する。	16
		電話回線の設定を正しく設定していない。	電話回線に合わせ、正しくセットする。	17
	電話を受けられない	ダイヤルインサービスをご契約で、登録した内線番号と違う番号で呼び出された。	ダイヤルインの電話用内線番号を確認する。	69
		NTTによる切替工事の前にダイヤルインの設定をしている。	ダイヤルインの設定を解除し、工事が終了したらもう一度設定し直す。	69
		NTTによる切替工事が終了しているのに、ダイヤルインの設定をしていない。	ダイヤルインの設定をする。	69
	呼出音が鳴らない	呼出音量が「切」になっている。	呼出音量を調節する。	65
		回線コードを正しく接続していない。	正しく接続する。	16
	停電中に電話を受けられない	ダイヤルインサービスを契約している。	停電時には特別な操作が必要です。	68
送信・受信	送信できない	回線コードが外れている。	回線コードを接続する。	16
	海外への送信ができない	回線の状況により送信できなかった。	ポーズを入れて送信してみる。	64
	原稿が引き込まれない	原稿を正しくセットしていない。	「ピッ」と鳴り、[アテサキ ヲ シテイシテクダサイ]が表示されることを確認してください。	——
	送信したとき、相手に何もプリントされない	自動給紙圧が適正な値にセットされていない。	自動給紙圧を調整してください。	84
		送る面を上にして原稿をセットしている。	送る面をウラ向きにしてセットし直す。	——

	症状	原因	対応	参照
送信・受信	送信したあと、アラーム音が鳴る	相手ファクスの記録紙切れ。	ストップボタンを押し、相手に確認してから送信し直す。	——
	呼出音が鳴りっぱなしで、受信が始まらない	受信方法が[シュドウジュシン]になっている。	受話器を上げ、受信操作をする。	42
		電源プラグが抜けている。	電源プラグを電源コンセントに差し込む。	16
		用紙やインクが無くなり、メモリーもフルになっている。	用紙やインクを交換し、メモリーに受信されている原稿をプリントする。	18 20
	受信できない	セレクト受信の設定が"アリ"になっている。	セレクト受信の設定を"ナシ"にする。	52
		ダイヤルインサービスをご契約で、登録した内線番号と違う番号で呼び出された。	ダイヤルインのファクス用の電話番号を確認する。	69
	タイマー通信がセットできない	すでに2つのタイマー通信をセットしている。		49
	ポーリング受信できない	相手にポーリング送信の機能がない。	ポーリング受信できません。	——
		相手が原稿をセットしていない。	相手に確認してポーリング受信し直す。	——
		ポーリングパスワードが合っていない。	相手に確認してポーリング受信し直す。	——
		当社機以外のファクスとパスワードを使ってポーリング受信している。	当社機以外のファクスから、パスワードを使ってポーリング受信はできません。	——
		サービス提供元がサービスを中止している。	サービス提供元に確認する。	——
	受信(コピー)したとき、記録がうすい	当社指定の用紙を使用していない。	当社指定の用紙をセットする。	20
		送信(コピー)の原稿が、うすい色の鉛筆で書かれている。	相手に確認して送信し直してもらう。	——
			コピーする原稿の文字を濃くしてから、コピーし直す。	——

	症状	原因	対応	参照
送信・受信	受信(コピー)したとき、白紙がプリントされる	原稿を正しくセットしていない。	相手に確認して送信し直してもらう。	——
			コピーする面をウラ向きにして、コピーし直す。	47
	受信(コピー)したとき、原稿に無い線や点が入る	プリントカートリッジの異常。	プリントカートリッジを交換する。	18
		読取部が汚れている。	読取部を清掃する。	86
		受信中にキャッチホンサービスの信号が入った。	相手に連絡して、送信し直してもらう。	——
		回線の不良。	相手に送信し直してもらう。	——
		プリントカートリッジが汚れている。	プリントカートリッジを清掃する。	87
	受信(コピー)したとき、一部プリントされなかったり、プリントがうすい	用紙が湿気を含んでいたり、折り目やシワがある。	新しい用紙に交換する。	20
		回線の不良。	相手に送信し直してもらう。	——
		プリントカートリッジが汚れている。	プリントカートリッジを清掃する。	87
		プリントカートリッジの異常。	プリントカートリッジを交換する。	18
	コピーしたとき、記録が欠けてしまう	定形外の原稿をコピーしている。(定形サイズ(B4またはA4サイズ)の原稿をコピーしても、後端15mmはプリントされません。)	縮小コピーしてください。	47
		縮小コピーをしても、A4サイズに入りきらない。	原稿を2枚に分けてコピーしてください。	——
	受信した原稿がプリントされない	用紙またはインクが無くなっている。	用紙を補充する。またはプリントカートリッジを交換する。	18 20
		メモリー受信の設定をしている。	メモリー受信の設定を解除する。	53
	電話がかけられない	ファクスを使用中。	終了後にかける。	——

	症状	原因	対応	参照
外部電話機	リモート受信できない	⊛を5秒以内に2回押していない。	5秒以内に2回押す。	43
		⑨を5秒以内に2回ダイヤルする。	5秒以内に2回ダイヤルする。	43
		外部電話機を正しく接続していない。	正しく接続する。	16
		リモート受信の設定が"ナシ"になっている。	リモート受信の設定を"アリ"にする。	76
		外部電話機から電話をかけている。	電話をかけたときは、リモート受信できません。	——
	留守番電話機に用件を録音できない	留守番電話機の用件がいっぱいになっている。	留守番電話機の説明書に従って、用件を消去する。	——
		受信方法が[ルスロク　セツゾク]になっていない。	[ルスロク　セツゾク]にセットする。	38
	留守番電話機に用件が録音されていないのに、用件が1件増える	ファクスを受信している。	相手がファクスの場合、「ポーポー」または無音が録音され、用件件数が増えることがあります。	——

主なエラーコード（こんな表示が出たときは）

通信できないなどエラーが発生したときは、ディスプレイや通信結果レポートなどにエラーコード番号が表示されます。次の表に従って、エラーを取り除いてください。
処置をしてもエラーになる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

[U××]がエラーコードです。

ディスプレイ表示	原　　因	対　　応	参照
ソウシン　ドﾞ ア　ガﾞ　アイテイマス コードﾞ =U10 ジﾞ ュシン　ドﾞ ア　ガﾞ　アイテイマス コードﾞ =U10	送信ドアまたは受信ドアが開いている。	送信ドアまたは受信ドアを閉じる。	——
キロクシ　ヲ　カクニン　シテクダﾞ サイ コードﾞ =U12 プﾟ リント　カートリッジﾞ　カクニン コードﾞ =U12	用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除く。	85
ゲﾞ ンコウ　ヲ　カクニン　シテクダﾞ サイ コードﾞ =U13	原稿が長すぎる。	原稿を2000mm以下にして送信し直す。	27
ゲﾞ ンコウ　ヲ　カクニン　シテクダﾞ サイ コードﾞ =U14	原稿がつまっている。	つまった原稿を取り除く。	
	原稿が正しくセットされていない。	原稿をセットし直す。	——
	原稿が繰り込まれない。	原稿をセットし直す。	——
		自動給紙圧を調整する。	84
キロクシ　ヲ　セット　シテクダﾞ サイ コードﾞ =U20	用紙が無くなっている。	用紙をセットする。	20
インク　ガﾞ　アリマセン コードﾞ =U21	プリントカートリッジのインクが切れている。	プリントカートリッジを交換する。	18
プﾟ リント　カートリッジﾞ　ヲ　カクニン コードﾞ =U22	プリントカートリッジが入っていない。	プリントカートリッジをセットする。	18
サイツウシン　ガﾞ　ヒツヨウデﾞ ス コードﾞ =U40	通信異常。	相手に確認し、通信し直す。	——
サイツウシン　ガﾞ　ヒツヨウデﾞ ス コードﾞ =U42	ポーリング受信で、相手にポーリング送信機能がない。	ポーリング受信できません。	——
	ポーリング受信で、相手がポーリング送信の原稿をセットしていない。	相手に連絡して、ポーリング送信の原稿をセットしてもらう。	——
サイツウシン　ガﾞ　ヒツヨウデﾞ ス コードﾞ =U43	ポーリング受信で、ポーリングパスワードが一致しない。	相手に確認して、通信し直す。	——
メモリー　オーバﾞ ー コードﾞ =U81	メモリーがいっぱいになった。	メモリーの内容をプリント・消去する。	43、59 61
	原稿読取中にメモリーがいっぱいになった。	相手に何ページまで送信したか確認して、残りのページを送信する。	31
		送信を中止して、ダイレクト送信をする。	35

停電のとき

停電になったとき

通話中	そのままお話しできます。
送信中	通信が切れ、原稿は途中で止まります。 停電が復旧したら、もう一度送信してください。
受信中	通信が切れ、途中までしか受信できません。
プリント中	プリントが途中で止まります。

停電中は

電話をかける	電話をかけることはできません。
電話を受ける	受話器を上げると話ができます。
ファクスの送信	送信できません。
ファクスの受信	受信できません。

お知らせ

●ファクスに登録・設定した内容は消えません。
●メモリー代行受信など受信した原稿や、メモリータイマー送信の原稿は消えません。
●時計の内容やタイマー送信など通信予約のファイル番号・宛先・通信予約時刻などの情報は電池により保持しています。電池が消耗すると、これらの内容は消去します。(電池は約1年間で消耗します。)

ファクシミリ通信網(Fネット)のご利用

NTTのFネットをご利用になれば、ファクス通信をするときに便利なサービスがご利用になれます。また、暮らしやビジネスに役立つ情報など、いろいろな情報を取り出すこともできます。

●NTTとの加入契約(G3サービス)が必要です。
●Fネットのサービス内容・利用方法・料金など、詳しくはお近くのNTT窓口にお問い合わせください。

Fネット通信をするとき

一斉同報通信 1回の操作で最大10000カ所への一斉同報送信ができます。(★)	短縮ダイヤル 最大10000カ所までご利用になれます。 (★★)
再コール 相手が通信中の場合、2分間隔で5回まで自動的に再ダイヤルします。 (回数は変更できます。)	無鳴動自動受信 Fネットからのファクスのときは、呼出音を鳴らさずに自動的に受信します。(1300Hzサービスのみ)
親展通信 暗証番号を使い原稿を受信側から引き出せます。(受信側は無鳴動受信の契約が必要です。)	ファクシミリボックス ファクス使用中にFネットを通して送られてくる原稿を、一時預かりします。(★★)
送達通知 送信が確実に行われたかどうかの結果を通知してくれます。	不達通知 再コールしても送信されなかった場合、送信側にその旨を通知します。
閉域接続 サークル仲間など、特定の相手との通信ネットが組めます。 (★)(★★)	ファクシミリ案内サービス ファクシミリによる情報提供サービスの登録・取り出しができます。(★★)
エンド・エンド着信課金 あらかじめ登録してある宛て先への送信について、通信料金を受信側が負担します。(★★)	

お知らせ

● 詳しい内容については、NTT発行の「ファクシミリ通信サービス・ご利用の手引き」をご覧ください。なお、説明文中の用語はNTTに準拠しており、この取扱説明書の表記とは多少異なります。

(★)　：Fネット短縮ダイヤルのご利用が必要です。
(★★)　：契約時に希望された方に限ります。

主な仕様

品番	UF-330
認定機器名	UF-330
適合認定番号	P97-1022-0　　F97-N056-0
電源	AC100V(50Hz/60Hz)
消費電力	待機時:8W　コピー時:29W　送信時:19W　受信時:19W　最大動作時:55W
適用回線	加入電話回線、ファクシミリ通信網(第2種接続サービス)
直流抵抗値	265Ω
通信可能機種	G3(国際規格)
電送時間	約6秒*(独自モード)
帯域圧縮方式	MH/MR/MMR
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400 bps
走査線密度	主走査: 8 dot/mm 副走査: 15.4 line/mm(細密)、7.7 line/mm(小さい)、3.85 line/mm(ふつう)
読取方式	CCDイメージセンサーによる固体走査
原稿サイズ	B4～A6/最大:幅257 mm×長さ2000 mm　最小:幅148 mm×長さ105 mm
有効読取幅	252 mm
記録方式	インクジェットによる普通紙記録
記録解像度	300×300 dpi
用紙サイズ	A4 サイズ
有効記録範囲	**
外形寸法	約380 mm(W)×378 mm(D)×196 mm(H)
質量	8.5kg
使用環境	温度:5～35℃　湿度:15～70%

* A4サイズ700字程度の原稿を、独自モード・標準的画質(8×3.85 line/mm)・高速モード(14400 bps)で送ったときの速さです。
これは画情報のみの電送時間で、通常の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容・相手機種・回線状況により異なります。

** 有効記録範囲(斜線部分)

索引

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
お近くの「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。

■保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

90ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、UF-330の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

本機は日本国内用です。(日本国外での使用は法律違反となります。)国外での使用に対するサービスは致しかねます。

アフターサービスは、○印のついている最寄りの松下電送株式会社各CSセンターへお問い合わせください。

◎FAX電話番号

北海道地区

都道府県	地区	出先名	電話番号	
北海道	札幌市	北海道 CSセンター	(011) 221-7753 ◎ (011) 221-6964	○
	苫小牧市	苫小牧S.S	(0144) 33-6090	○
	旭川市	旭川S.S	(0166) 25-2017	○
	函館市	函館S.S	(0138) 32-0323	○
	釧路市	釧路S.S	(0154) 24-6499	○
	帯広市	帯広S.S	(0155) 24-4833	○
	北見市	北見S.S	(0157) 61-0102	○

東北地区

都道府県	地区	出先名	電話番号	
宮城県	仙台市	東北 CSセンター	(022) 265-4711 ◎ (022) 264-2409	○
福島県	郡山市	郡山S.S	(0249) 56-1112	○
	福島市	福島S.S	(0245) 36-0118	○
	いわき市	いわきS.S	(0246) 34-5830	○
	会津若松市	会津若松S.S	(0242) 25-2163	○
岩手県	盛岡市	盛岡S.S	(0196) 41-3333	○
	釜石市	釜石S.S	(0193) 22-1043	○
	水沢市	水沢S.S	(0197) 25-7426	○
青森県	青森市	青森S.S	(0177) 39-6726	○
	八戸市	八戸S.S	(0178) 28-8848	○
秋田県	秋田市	秋田S.S	(0188) 64-1671	○
山形県	山形市	山形S.S	(0236) 32-5799	
	酒田市	酒田S.S	(0234) 24-6822	○

関東地区

都道府県	地区	出先名	電話番号	
栃木県	宇都宮市	関東 CSセンター	(028) 637-2855 ◎ (028) 635-1883	○
	足利市	両毛S.S	(0284) 72-5513	
群馬県	前橋市	前橋S.S	(0272) 24-2917	○
茨城県	水戸市	水戸S.S	(029) 248-7041	○
	つくば市	つくばS.S	(0298) 57-2710	○

首都圏甲信越地区

都道府県	地区	出先名	電話番号	
東京都	品川区	首都圏 CSセンター	(03) 3495-4711 ◎ (03) 3495-4710	○
	新宿区	新宿S.S	(03) 3342-4011	
	台東区	城北S.C	(03) 3836-5841	
	足立区	足立S.S	(03) 3855-1438	
	江東区	江東S.S	(03) 3638-7457	
	豊島区	池袋S.S	(03) 3971-2763	
	武蔵野市	吉祥寺S.C	(0422) 47-4474	○
	立川市	立川S.S	(0425) 25-4189	
	八王子市	八王子S.S	(0426) 36-5090	
埼玉県	大宮市	大宮S.C	(048) 645-0166	○
	熊谷市	熊谷S.S	(0485) 24-2374	
	川越市	川越S.S	(0492) 46-9777	
	川口市	川口S.S	(0482) 22-9297	
新潟県	新潟市	新潟S.S	(025) 241-2477	○
	長岡市	長岡S.S	(0258) 37-2777	○
長野県	松本市	松本S.S	(0263) 26-8117	○
	長野市	長野S.S	(0262) 21-7954	○
	東部町	上田S.S	(0268) 62-3211	○
山梨県	昭和町	甲府S.S	(0552) 28-8197	○

お客様ご相談センター一覧表

神奈川地区				
神奈川県	横浜市	神奈川 CSセンター	(045) 212−5311 ◎ (045) 212−5310	○
	厚木市	厚木S.S	(0462) 24−6662	
	小田原市	小田原S.S	(0465) 22−9068	
	相模原市	相模原S.S	(0427) 59−4617	
	茅ヶ崎市	湘南S.S	(0467) 85−5520	

千葉地区				
千葉県	千葉市	千葉 CSセンター	(043) 287−4000 ◎ (043) 287−5700	○
	流山市	柏S.S	(0471) 59−8170	
	船橋市	船橋S.S	(0473) 36−0636	
	成田市	成田S.S	(0476) 24−1441	
	木更津市	木更津S.S	(0438) 23−2774	

中部地区				
愛知県	名古屋市	中部 CSセンター	(052) 971−2822 ◎ (052) 971−0167	○
	豊橋市	豊橋S.S	(0532) 53−5898	○
	岡崎市	岡崎S.S	(0564) 26−0560	
	一宮市	一宮S.S	(0586) 72−2766	
	春日井市	春日井S.S	(0568) 82−1685	
	半田市	知多S.S	(0569) 23−3691	
静岡県	静岡市	静岡S.C	(054) 247−0362	○
	浜松市	浜松S.S	(053) 448−1503	○
	沼津市	沼津S.S	(0559) 22−4445	
	掛川市	掛川S.S	(0537) 24−6601	
三重県	津市	津S.S	(0592) 24−0817	○
	四日市市	四日市S.S	(0593) 54−1837	
和歌山県	新宮市	南紀S.S	(0735) 23−0402	
岐阜県	岐阜市	岐阜S.S	(0582) 74−5000	○
	多治見市	多治見S.S	(0572) 23−9030	

近畿地区				
大阪府	大阪市 福島区	近畿 CSセンター	(06) 454−2661 ◎ (06) 454−2659	○
	大阪市	大阪南S.S	(06) 772−7160	
	東大阪市	東大阪S.S	(06) 781−3437	
	堺市	堺S.S	(0722) 22−1503	
	門真市	門真S.S	(06) 906−6520	
	茨木市	茨木S.S	(0726) 22−4162	
	貝塚市	泉南S.S	(0724) 39−5802	
	枚方市	枚方S.S	(0720) 46−2725	
兵庫県	神戸市	神戸S.C	(078) 332−4420	○
	姫路市	姫路S.S	(0792) 35−2123	
	尼崎市	尼崎S.S	(06) 431−0463	
	明石市	明石S.S	(078) 925−4749	
京都府	京都市	京都S.C	(075) 251−0651	○
	福知山市	福知山S.S	(0773) 23−5547	
和歌山県	和歌山市	和歌山S.S	(0734) 28−2714	
奈良県	奈良市	奈良S.S	(0742) 35−0275	
滋賀県	守山市	滋賀S.S	(0775) 83−2345	

北陸地区				
石川県	金沢市	北陸 CSセンター	(0762) 47−6140 ◎ (0762) 43−6216	○
富山県	富山市	富山S.S	(0764) 92−5644	○
	高岡市	高岡S.S	(0766) 24−0655	○
福井県	福井市	福井S.S	(0776) 53−3522	○

中国地区				
広島県	広島市	中国 CSセンター	(082) 249−4441 ◎ (082) 249−8399	○
	福山市	福山S.S	(0849) 26−3370	○
岡山県	岡山市	岡山S.S	(086) 244−2666	○
	津山市	津山S.S	(0868) 24−5580	○
山口県	小郡町	山口S.S	(0839) 72−9376	○
	徳山市	徳山S.S	(0834) 31−5222	○
	下関市	下関S.S	(0832) 56−7375	○
島根県	松江市	松江S.S	(0852) 23−8665	○
	浜田市	浜田S.S	(0855) 23−2263	○
鳥取県	鳥取市	鳥取S.S	(0857) 26−4415	○

四国地区				
香川県	高松市	四国 CSセンター	(0878) 21−1377 ◎ (0878) 22−9483	○
愛媛県	松山市	松山S.S	(089) 921−5779	○
	新居浜市	新居浜S.S	(0897) 34−8325	○
高知県	高知市	高知S.S	(0888) 33−6333	○
徳島県	徳島市	徳島S.S	(0886) 26−0105	○

九州地区				
福岡県	福岡市	九州 CSセンター	(092) 281−1188 ◎ (092) 281−7859	○
	北九州市	北九州S.S	(093) 923−1540	○
	久留米市	久留米S.S	(0942) 21−1922	○
鹿児島県	鹿児島市	鹿児島S.S	(0992) 56−7734	○
長崎県	長崎市	長崎S.S	(0958) 61−9371	○
	佐世保市	佐世保S.S	(0956) 32−3386	○
大分県	大分市	大分S.S	(0975) 56−8251	○
熊本県	熊本市	熊本S.S	(096) 381−1050	○
佐賀県	佐賀市	佐賀S.S	(0952) 29−3431	○
沖縄県	那覇市	沖縄S.S	(0988) 66−0844	○
宮崎県	宮崎市	宮崎S.S	(0985) 27−2008	○
	延岡市	延岡S.S	(0985) 27−2008	
	都城市	都城S.S	(0986) 25−0431	

上記窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

平成8年8月31日現在

消耗品・別売品

消耗品・別売品はお買い上げの販売店にお問い合わせください。また、指定品以外は使用しないでください。

消耗品	
用紙（A4サイズ）	UG-0601A4
プリントカートリッジ	PC-60BK

別売品		
キャリアシート	B4用	UG-1100B4
	A4用	UG-1100A4

愛情点検　長年ご使用のファクスの点検を！

このような症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 電源プラグやコードが熱を持っている。
- 用紙や送信原稿がたびたびつまる。
- 時刻表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番　UF-330
販売店名	電話　（　　）	
お客様ご相談窓口	電話　（　　）	

松下電器産業株式会社
松下電送株式会社
〒153　東京都目黒区下目黒2-3-8

A06977-2107
DZSD000597-2